令和8年熊本地震（M7.1）について

気象庁では、令和８年７月28日16時27分頃に熊本県熊本地方で発生した地震について、その名称を「令和８年熊本地震」と定めました。

気象庁のwebページより https://www.jma.go.jp/jma/press/2607/28b/kaisetsu202607281915.pdf

地震の概要

検知時刻 （最初に地震を検知した時刻）	7月28日16時27分
発生時刻 （地震が発生した時刻）	7月28日16時27分
マグニチュード	7.1（暫定値）
発生場所	熊本県熊本地方 深さ16km（暫定値；速報値　深さ約10kmから更新）
発震機構	東北東―西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型（速報）
震度	【最大震度7】熊本県の宇城市（うきし）・氷川町（ひかわちょう）で震度7を観測したほか、北陸地方から九州地方にかけて震度6強～1を観測
地震活動の状況 29日14時00分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が194回発生（震度5弱：3回　震度4：11回　震度3：34回　震度2：59回　震度1：87回）
長周期地震動の観測状況	熊本県熊本で長周期地震動階級4を観測

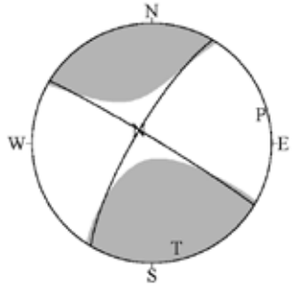
気象庁のwebページより https://www.jma.go.jp/jma/press/2607/29a/kaisetsu202607291500.pdf

発震機構解

07281627

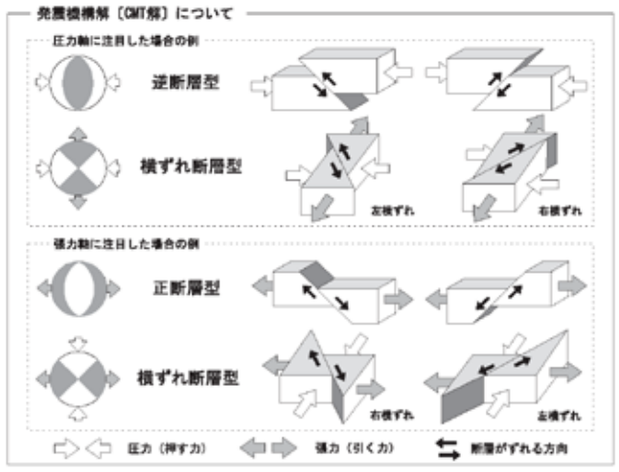
東北東－西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型

[CMT解(速報)]　　Mw=6.8



下半球等積投影法で描画
P：圧力軸の方向
T：張力軸の方向

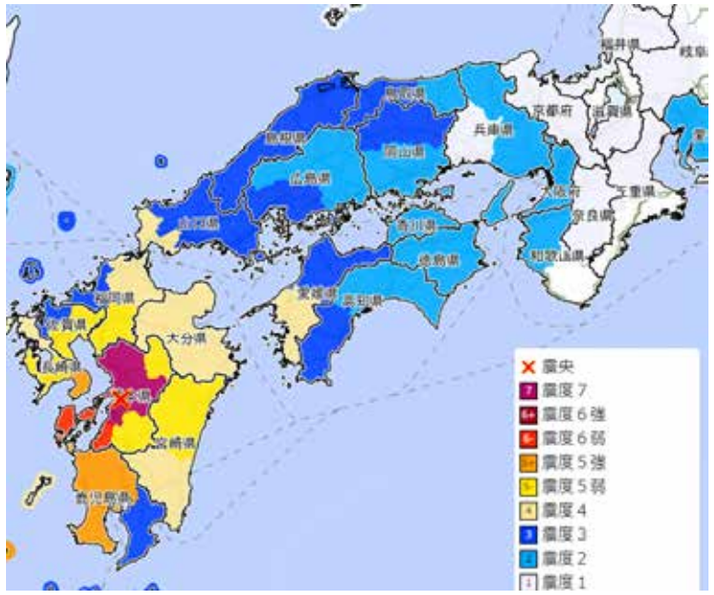
セントロイドの位置
北緯 32度33分
東経 130度42分
深さ 約10km
※セントロイドの位置とは、地震の断層運動を１点で代表させた場合の位置。



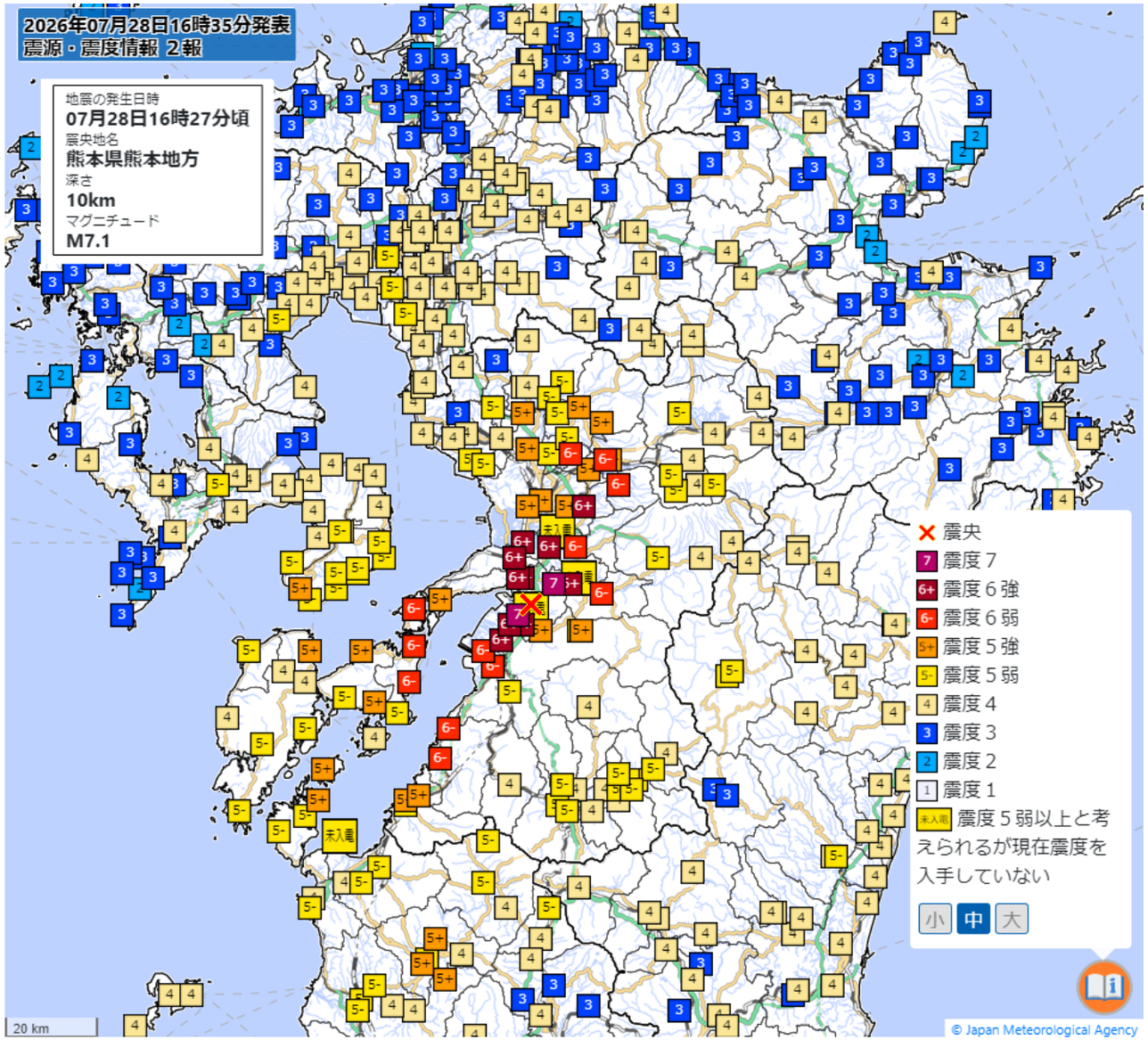
気象庁作成

気象庁のwebページより https://www.jma.go.jp/jma/press/2607/28a/kaisetsu202607281730.pdf

震度分布



気象庁のwebページより https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#9/32.77/130.798/&elem=int&contents=earthquake_map



今回の地震（M7.1）で震度データが入電していない観測点

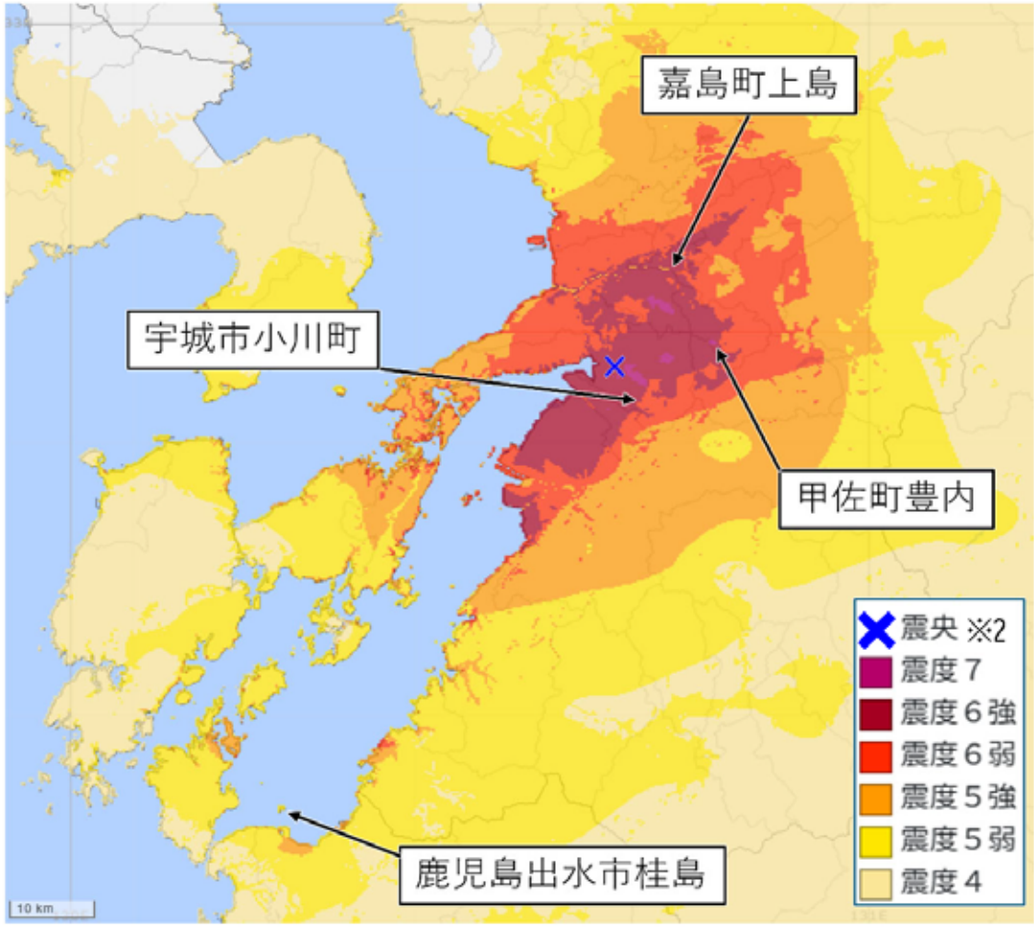
未入電観測点	読み	推定される震度※1
宇城市小川町＊	うきしおがわまち	６強
甲佐町豊内＊	こうさまちとようち	６強
嘉島町上島＊	かしままちうえじま	６強
鹿児島出水市桂島＊	かごしまいずみしかつらしま	５弱

＊は気象庁以外の震度観測点についての情報です。

(注)震度５弱以上と推定されるが、現在震度データを入電していない観測点のみ掲載しています。

※1 未入電観測点における推計震度分布図での推定値。
推計震度分布図での推定値と観測される震度は誤差が含まれ、１階級程度ずれることがありますのでご注意ください。

※2 推計震度分布図で示した震央の位置は暫定値です。



気象庁のwebページより https://www.jma.go.jp/jma/press/2607/29a/kaisetsu202607291500.pdf

F-net 地震のメカニズム

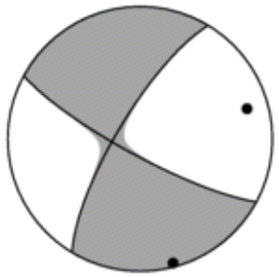
F-net 地震のメカニズム情報【詳細】

■ 気象庁による震源情報

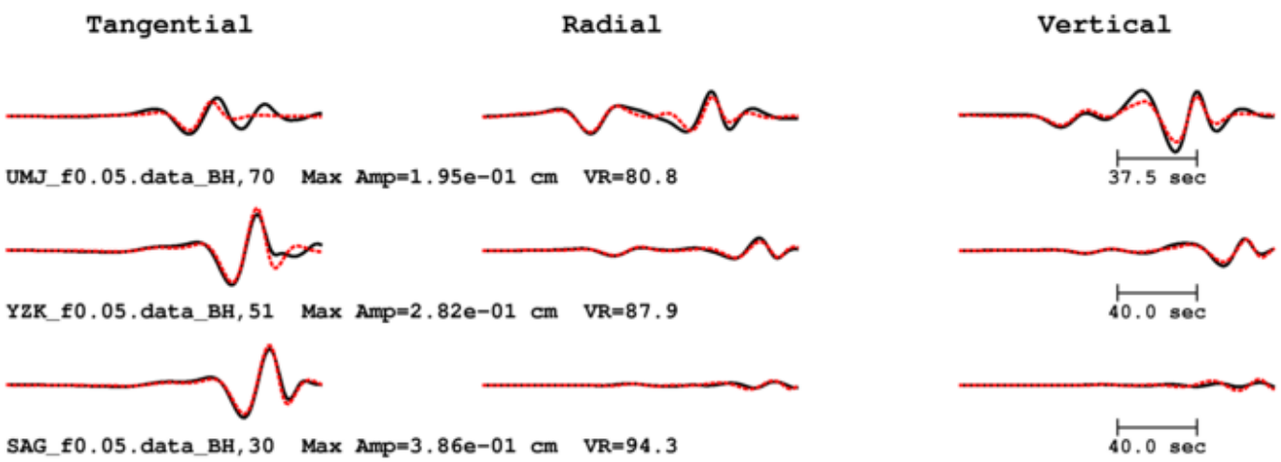
地震発生時刻 (JST)	緯度 (°)	経度 (°)	震央地名	深さ (km)	Mj
2026/07/28,16:27	32.6	130.7	熊本県熊本地方	10	7.1

■ 手動メカニズム推定結果

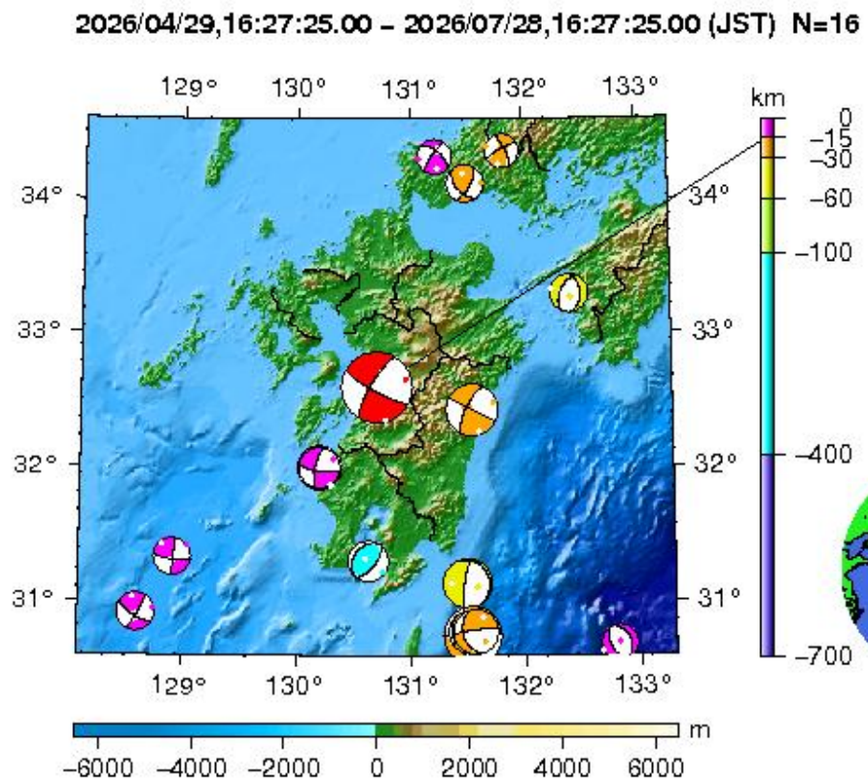
緯度 (°)	経度 (°)	深さ (km)	走向 (°)	傾斜 (°)	すべり角 (°)	M_0 (Nm)	M_W	品質
32.6	130.7	17	211 ; 118	76 ; 80	-170 ; -14	1.12e+19	6.7	89.73

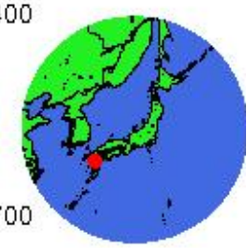


```
Mw       = 6.7          Var. Red     = 89.73
Mo [Nm]  = 1.12e+19     Percent DC   = 96
NP1: (211, 76, -170)    Percent CLVD = 4
NP2: (118, 80,  -14)    Variance     = 3.68e-04     —— Obs.
                        RES/Pdc.     = 3.85e-06     ····· Syn.
```



■ 周辺の地震活動 詳細版





波形データ取得

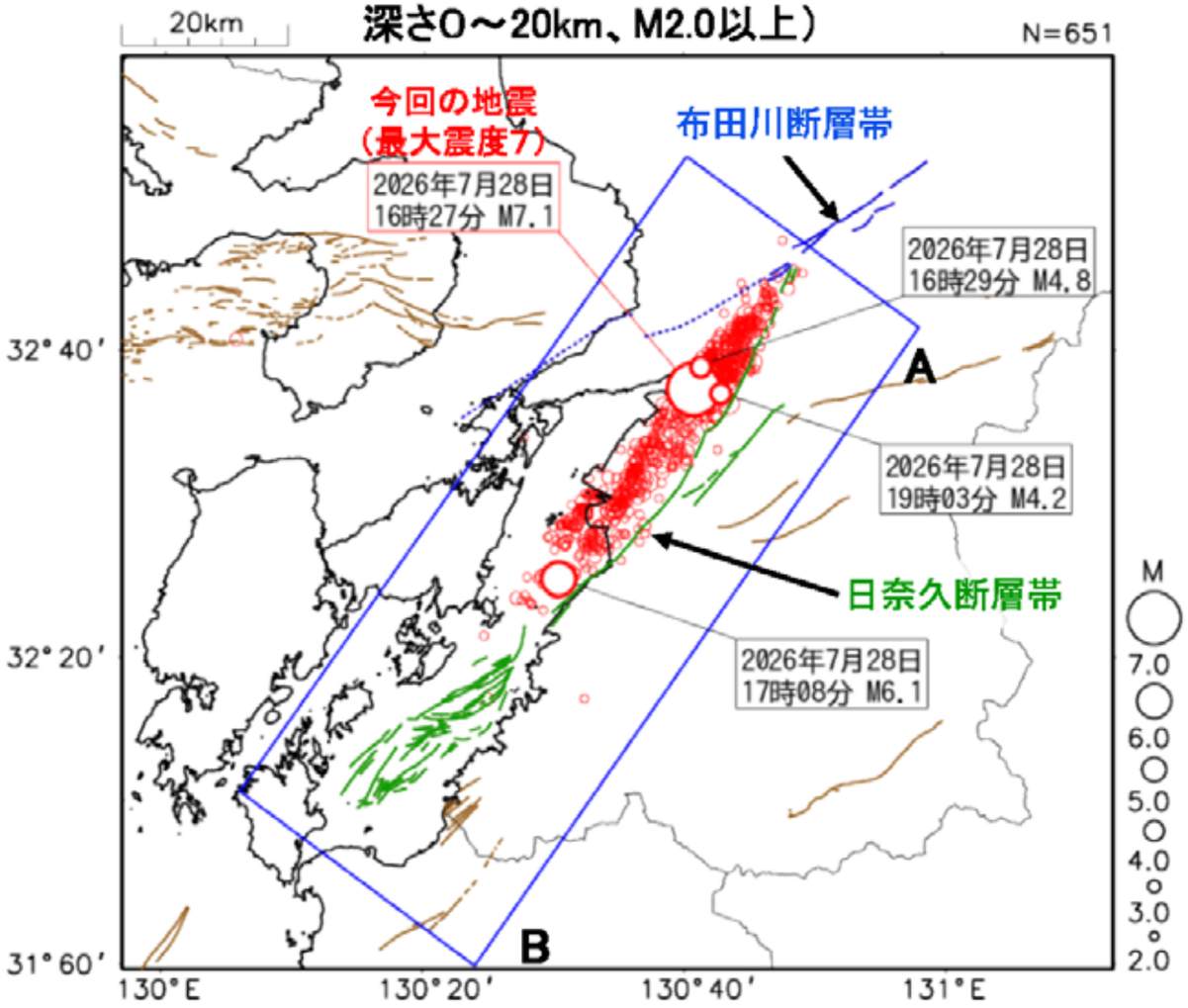
■ 地震波形

- 01. TSA 西土佐 波形画像
- 02. KYK 永田 波形画像
- 03. TGW 玉川 波形画像
- 04. OKW 大川 波形画像
- 05. UMJ 馬路 波形画像
- 06. YZK 山崎 波形画像
- 07. SAG 西郷 波形画像

F-netのwebページより https://www.fnet.bosai.go.jp/event/tdmt.php?_id=20260728072600&LANG=ja

「令和8年熊本地震」の地震活動（発生場所の詳細）

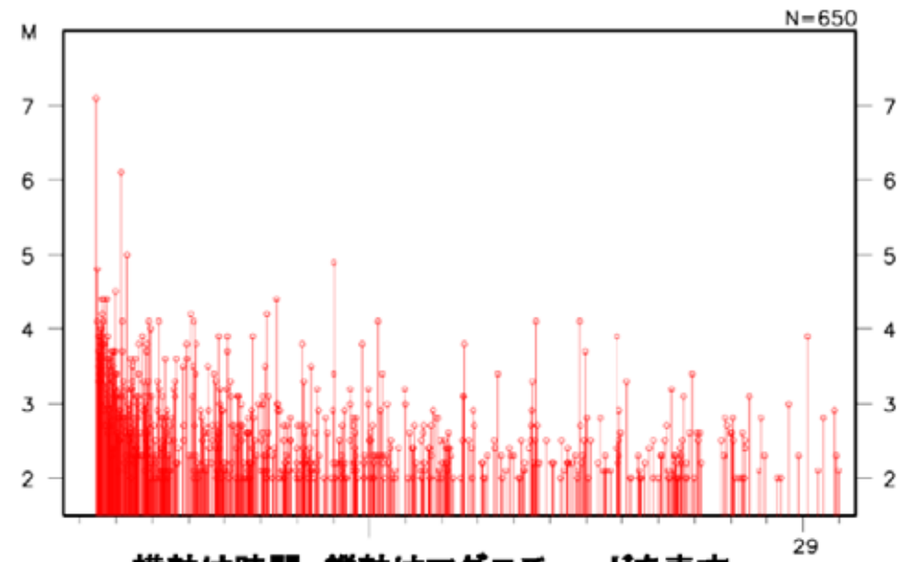
震央分布図
（2026年7月28日16時～7月29日13時00分、深さ0～20km、M2.0以上）



震源は未精査のものを含む
丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

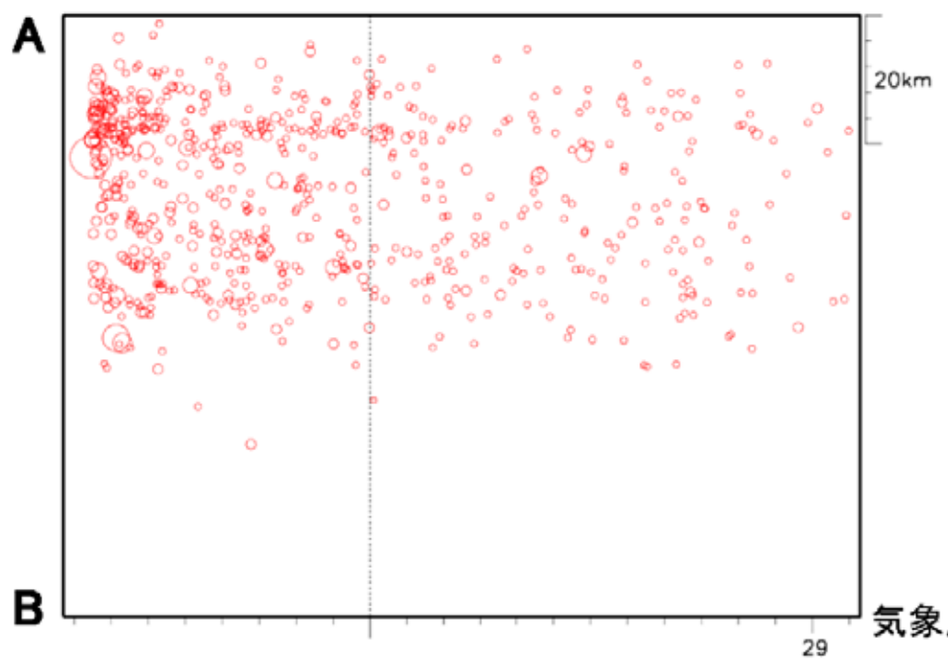
震央分布図中の青、緑、茶色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

左図の四角形領域内の地震活動経過図



横軸は時間、縦軸はマグニチュードを表す

左図の四角形領域内の時空間分布図（A-B投影）

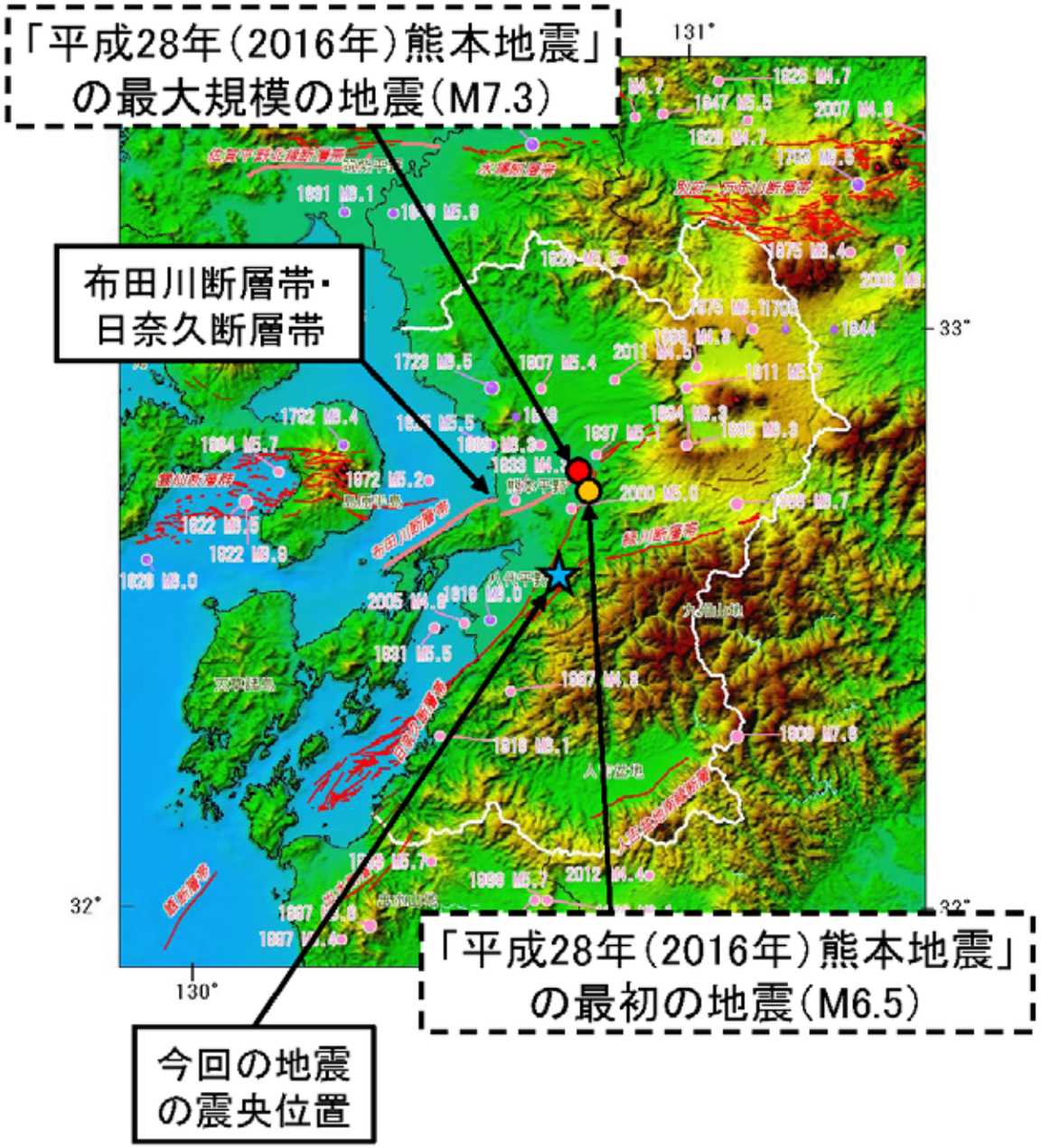


気象庁作成

気象庁のwebページより https://www.jma.go.jp/jma/press/2607/29a/kaisetsu202607291500.pdf

震源周辺の活断層について

（参考資料）



●周辺の活断層

○今回の地震の震源周辺には、布田川（ふたがわ）断層帯・日奈久（ひなぐ）断層帯が存在します。

●過去の例

○「平成28年（2016年）熊本地震」では、M6.5の地震が発生した2日後に、隣接する別の活断層でより規模の大きな地震（M7.3）が発生しました。

○過去には、2005年の福岡県北西沖の地震（M7.0）のように、大きな地震の後、近くの活断層（警固断層帯南東部）は活動せず当初の地震活動域が広がらなかった例もあれば、1930年の北伊豆地震（M7.3）のように、近くの活断層（北伊豆断層帯）が活動し、当初の活動域が広がった例もあります。

●留意事項

○過去の例のように、今回の地震の周辺に存在する活断層等で大きな地震が発生する可能性は否定できないため、留意が必要です。

○今回の地震の周辺に存在する活断層で大きな地震が発生した場合には、周辺で震度6強以上の強い揺れになると予想されています。

気象庁作成

震源周辺の活断層について

（参考資料）

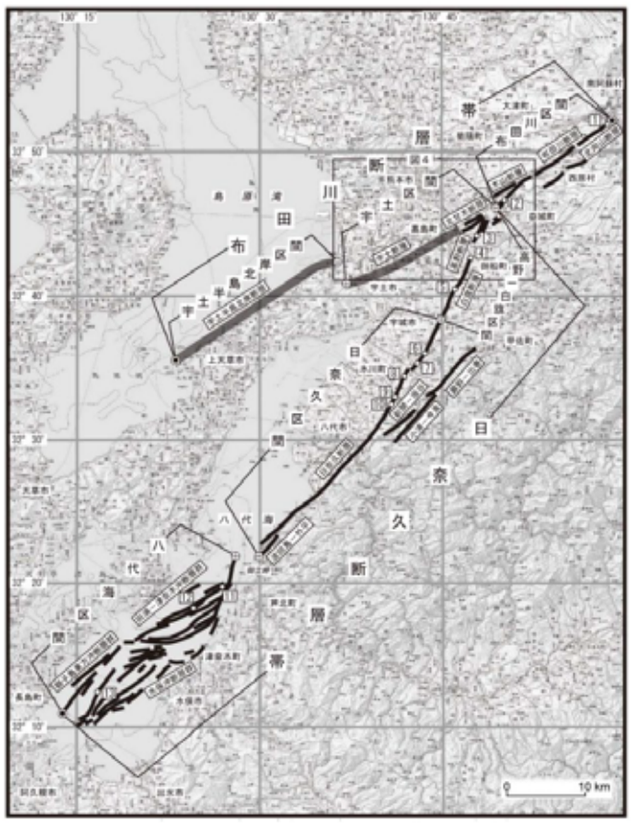
布田川（ふたがわ）断層帯・日奈久（ひなぐ）断層帯

●過去の主な地震

2016年4月14日のM6．5の地震及び4月15日のM6．4の地震の震源域付近には日奈久断層帯が存在しています。これらの地震は、その高野－白旗区間の活動によると考えられます。

2016年4月16日のM7．3の地震の震源域付近には布田川断層帯が存在しています。この地震は、主に布田川断層帯の布田川区間の活動によると考えられます。

●活断層の詳細な位置



●活断層の長期評価

断層帯	活動区間	想定される規模	ランク
布田川断層帯	布田川区間	M7.0程度	Zランク
	宇土区間	M7.0程度	Xランク
	宇土半島北岸区間	M7.2程度以上	Xランク
日奈久断層帯	高野－白旗区間	M6.8程度	Xランク
	日奈久区間	M7.5程度	S＊ランク
	八代海区間	M7.3程度	S＊ランク

同時に活動する場合の断層帯	想定される規模
布田川断層帯全体が同時に活動した場合	M7.5－7.8 程度以上
日奈久断層帯全体が同時に活動した場合	M7.7-8.0 程度
日奈久断層帯の全体及び布田川断層帯の布田川区間が同時に活動した場合	M7.8－8.2 程度

活断層における今後30年以内の地震発生確率が、3%以上を「Sランク」、0.1～3%を「Aランク」、0.1%未満を「Zランク」、不明（すぐに地震が起きることが否定できない）を「Xランク」と表記している。
地震後経過率（最新活動時期から評価時点までの経過時間を、平均活動間隔で割った値）が0.7以上である活断層については、ランクに「＊」を付記している。

気象庁作成

気象庁のwebページより https://www.jma.go.jp/jma/press/2607/28a/kaisetsu202607281730.pdf

令和８年７月２９日
地震調査研究推進本部
地震調査委員会

令和８年熊本地震※1の評価

○　７月 28 日 16 時 27 分に熊本県熊本地方の深さ約 15 km でマグニチュード(M)7.1（暫定値）の地震が発生した。この地震により熊本県で最大震度７を観測し、被害を伴った。また、熊本県で長周期地震動階級４を観測した。この地震の発震機構は北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震である。

○　この地震の後も活発な地震活動が継続しており、北東－南西に延びる 50 km程度の範囲に広がっている。29 日 14 時までの最大の地震は、28 日 17 時 08 分に発生した M6.1 の地震であり、最大震度１以上を観測した地震が 194 回発生した。

○　M7.1 の地震に伴い、熊本県の KiK-net 三角（みすみ）観測点及び熊本県宇城市豊野町（とよのまち）の自治体震度観測点でそれぞれ 1,667 gal 及び 2,438 gal（共に三成分合成）など、大きな加速度を観測した。

○　ＧＮＳＳ観測によると、M7.1 の地震に伴って、熊本県八代市の千丁（せんちょう）観測点が北東方向に約 87 cm 移動するなど、熊本県を中心に広い範囲で地殻変動が観測された。また、「だいち２号」の合成開口レーダー干渉解析結果によると、今回の地震活動域付近に大きな地殻変動がみられる。

○　地殻変動観測、地震波を用いた解析から推定される M7.1 の震源断層は、破壊開始点から浅部に広がっており、長さは約 30 kmであると推定される。

○　今回の地震活動域付近には布田川断層帯・日奈久断層帯が存在している。今回の地震活動は、日奈久断層帯の３つの区間（高野－白旗区間、日奈久区間、八代海区間）のうち、主に高野－白旗区間及び日奈久区間に沿って分布している。M7.1 の震源断層は、日奈久断層帯の日奈久区間の北東部及び高野－白旗区間の一部に及んでいると考えられる。

○　今回の地震活動域の北東には「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動域が熊本県熊本地方から大分県中部に存在する。熊本県阿蘇地方から今回の地震活動を含む領域では、「平成 28 年（2016 年）熊本地震」発生以前に比べ、地震活動が活発な状態が継続していた。

○　地震調査委員会は、日奈久断層帯の高野－白旗区間及び日奈久区間について、活動時にそれぞれ M6.8 程度、M7.5 程度の地震が発生する可能性があり、30 年以内の地震発生確率はそれぞれ X ランク（不明）、S＊ランク（高い）※2と評価していた。また、日奈久断層帯を含む九州南部の区域では、M6.8 以上の地震の発生確率は 7-18%と評価していた。

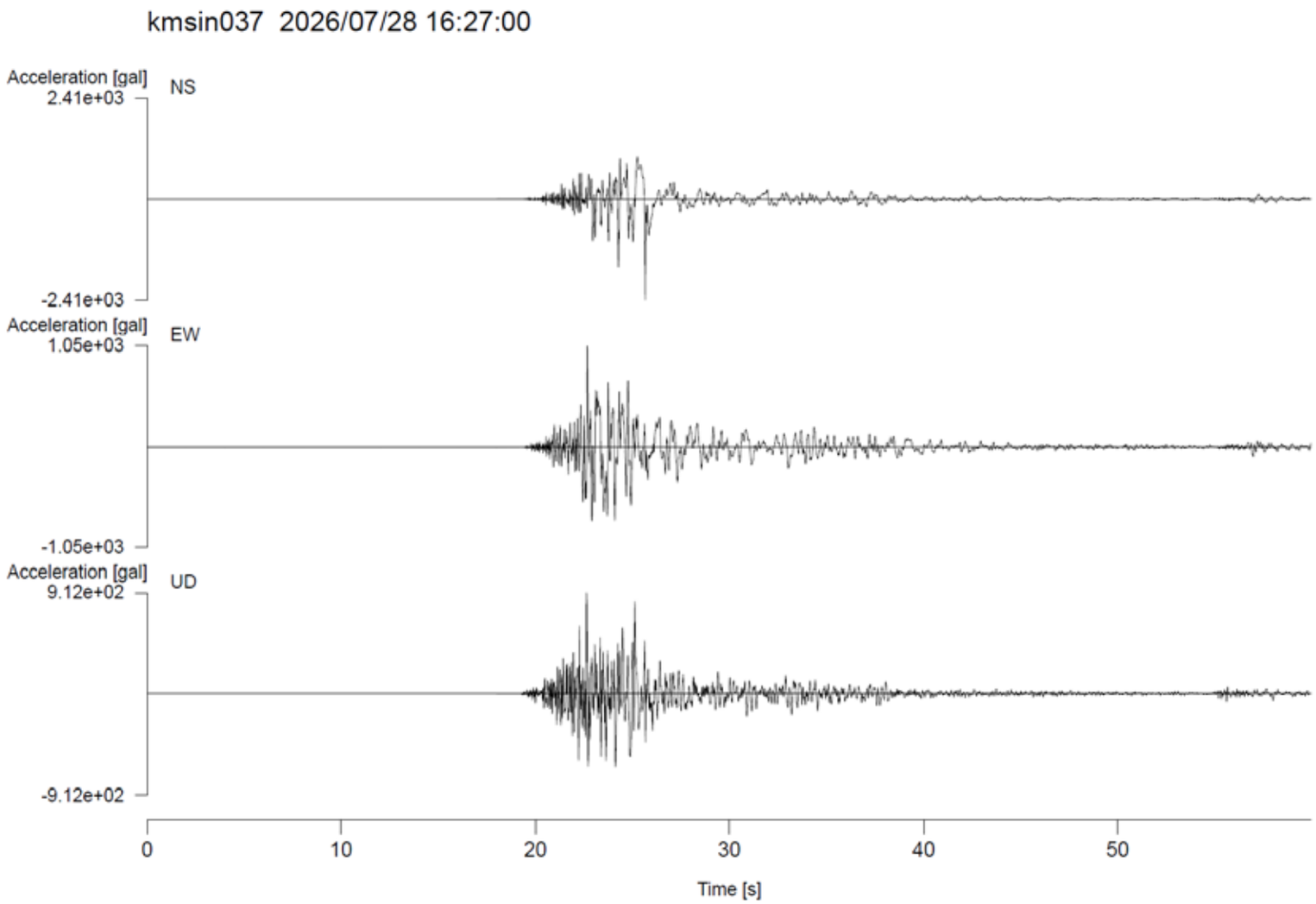
○　この地域では過去に、大地震発生から１週間程度の間に同程度の地震が続発した事例があることから、揺れの強かった地域では、地震発生から１週間程度、最大震度７程度の地震に注意が必要である。特に地震発生から２～３日程度は、強い揺れをもたらす地震が発生することが多くある。今回の地震活動域は広範囲に広がっており、地震が発生する場所や規模によっては今回の地震（M7.1）による揺れよりも強く揺れる場合がある。また、海底で規模の大きな地震が発生した場合、津波に注意する必要がある。

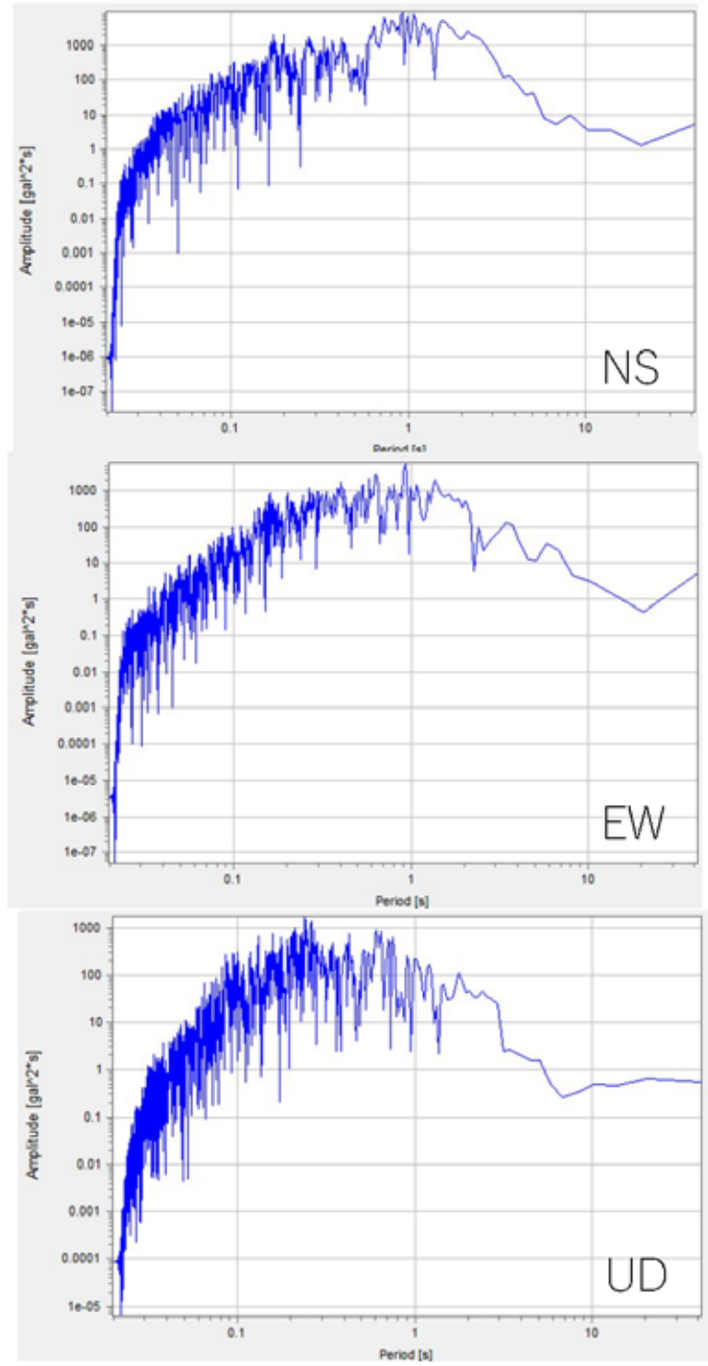
注：ＧＮＳＳとは、ＧＰＳをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。
※１：「令和８年熊本地震」（気象庁が定めた名称）は、令和８年７月 28 日に熊本県熊本地方で発生した M7.1 の地震及びそれ以降に発生した一連の地震活動を指す。
※２：活断層における今後 30 年以内の地震発生確率が 3%以上を「Ｓランク」、0.1～3%未満を「Ａランク」、0.1%未満を「Ｚランク」、不明（過去の地震データが少ないため、確率の評価が困難）を「Ｘランク」と表記している。地震後経過率※３が 0.7 以上である活断層については、ランクに「＊」を付記している。Ｚランクでも、活断層が存在すること自体、当該地域で大きな地震が発生する可能性を示す。
※３：最新活動（地震発生）時期から評価時点までの経過時間を、平均活動間隔で割った値。最新の 地震発生時期から評価時点までの経過時間が、平均活動間隔に達すると 1.0 となる。

地震本部による評価

宇城市豊野町（加速度波形）

合成最大加速度：2437.8gal





熊本県が設置した震度計の波形データを活用した。
スペクトルの描画は、（国研）防災科学技術研究所のSMDA2を使用した。

気象庁作成

地震本部のwebページよりhttps://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2026/20260728_kumamoto_1.pdf

長周期地震動に関する観測情報

長周期地震動の観測結果

【地震の概要】

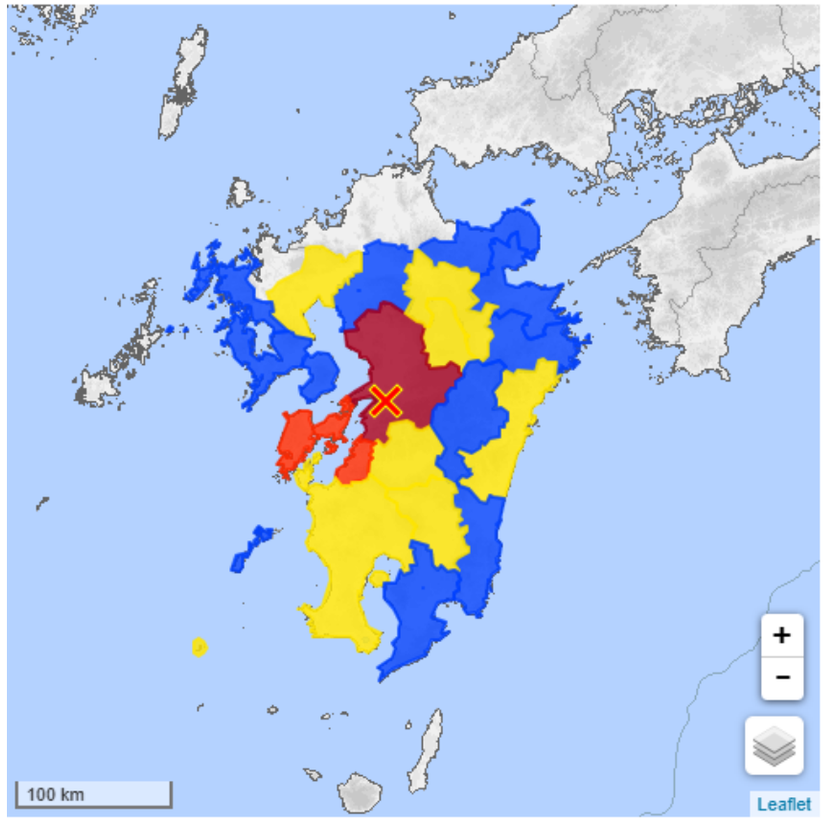
地震検知時刻	2026年07月28日 16時27分ころ
震央地名	熊本県熊本地方
緯度	北緯３２．６度
経度	東経１３０．７度
深さ	深さ　１０ｋｍ
マグニチュード	７．１

【長周期地震動階級１以上が観測された地域】

長周期地震動階級4	熊本県熊本
長周期地震動階級3	熊本県天草・芦北
長周期地震動階級2	佐賀県南部　熊本県阿蘇　熊本県球磨　大分県西部 宮崎県北部平野部　宮崎県南部山沿い　鹿児島県薩摩
長周期地震動階級1	大阪府南部　鳥取県西部　徳島県北部　高知県東部　福岡県筑後 長崎県北部　長崎県南西部　長崎県島原半島　大分県北部 大分県中部　大分県南部　宮崎県北部山沿い　宮崎県南部平野部 鹿児島県大隅　鹿児島県甑島

	長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動階級１	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	―
	長周期地震動階級２	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	―
	長周期地震動階級３	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
	長周期地震動階級４	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

長周期地震動階級１以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: 階級1　階級2　階級3　階級4

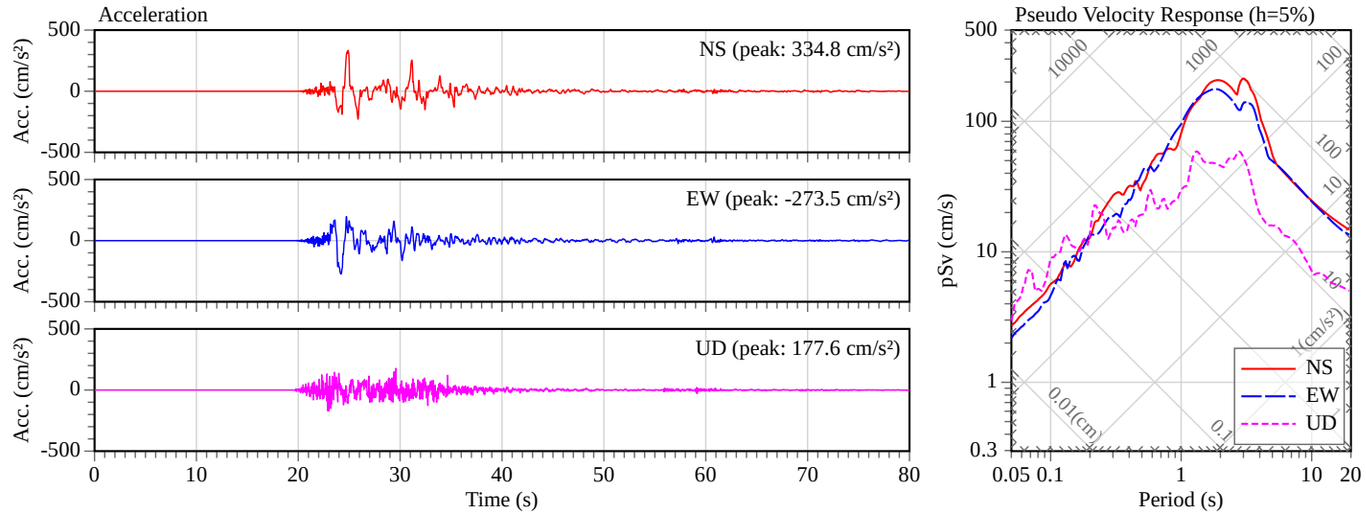
都道府県名	地域名	観測点名	震度	長周期地震動階級
熊本	熊本県熊本	八代市平山新町	6弱	階級4
熊本	熊本県熊本	宇城市松橋町	6強	階級4
熊本	熊本県天草・芦北	芦北町芦北	6弱	階級3
佐賀	佐賀県南部	佐賀市駅前中央	4	階級2
熊本	熊本県阿蘇	南阿蘇村中松	4	階級2
熊本	熊本県熊本	熊本西区春日	5強	階級2
熊本	熊本県熊本	八代市泉町	5弱	階級2
熊本	熊本県球磨	人吉市西間下町	5弱	階級2
熊本	熊本県球磨	多良木町多良木	5弱	階級2
熊本	熊本県天草・芦北	上天草市大矢野町	6弱	階級2
熊本	熊本県天草・芦北	天草市牛深町	5弱	階級2

気象庁のwebページより
https://www.data.jma.go.jp/eew/data/ltpgm/event.php?eventId=20260728162718

長周期地震動に関する観測情報

八代市平山新町

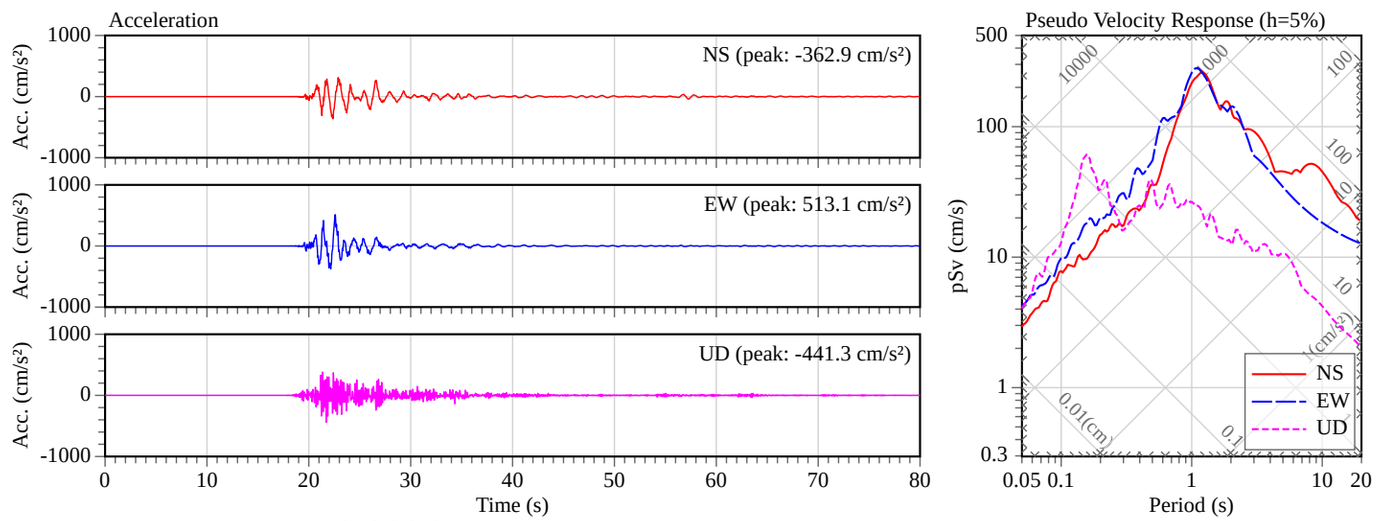
震度6弱
長周期地震動階級4



2026/07/28 16:27:00 at : **八代市平山新町**, Intensity: 6.0

宇城市松橋町

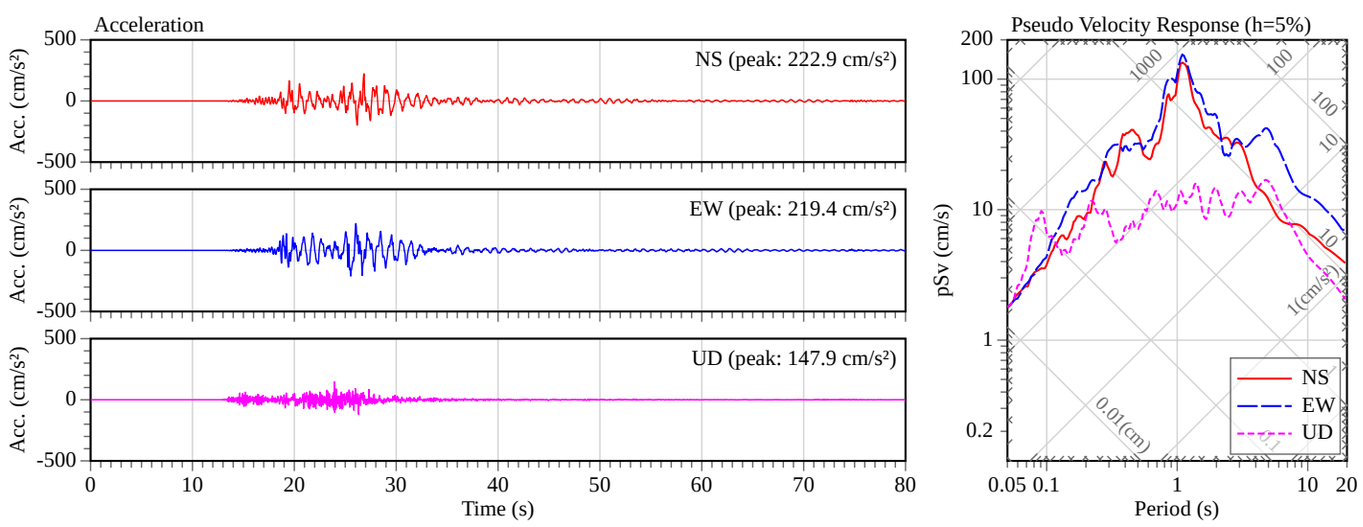
震度6強
長周期地震動階級4



2026/07/28 16:27:00 at : **宇城市松橋町**, Intensity: 6.1

芦北町芦北

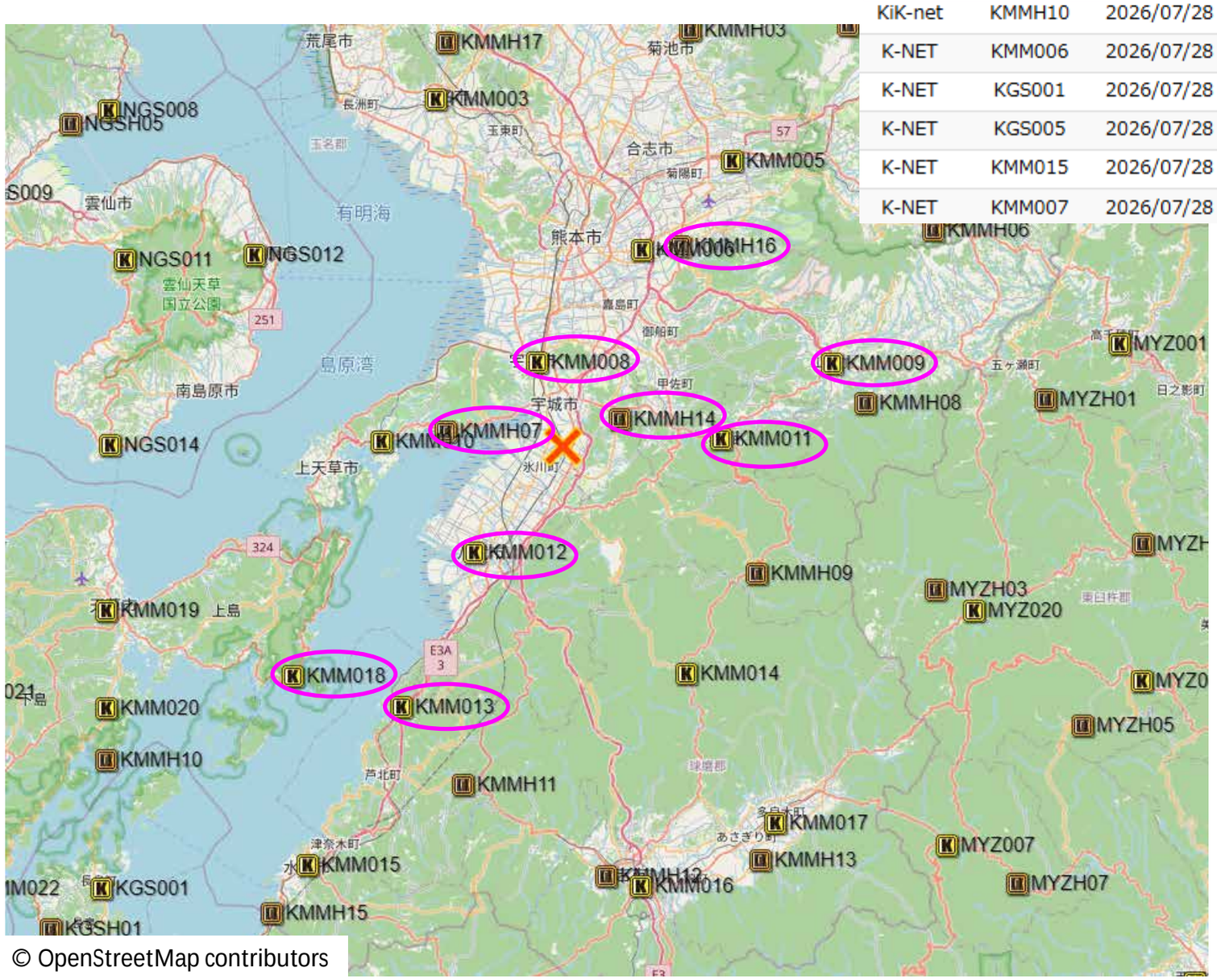
震度6弱
長周期地震動階級3



2026/07/28 16:27:10 at : **芦北町芦北**, Intensity: 5.5

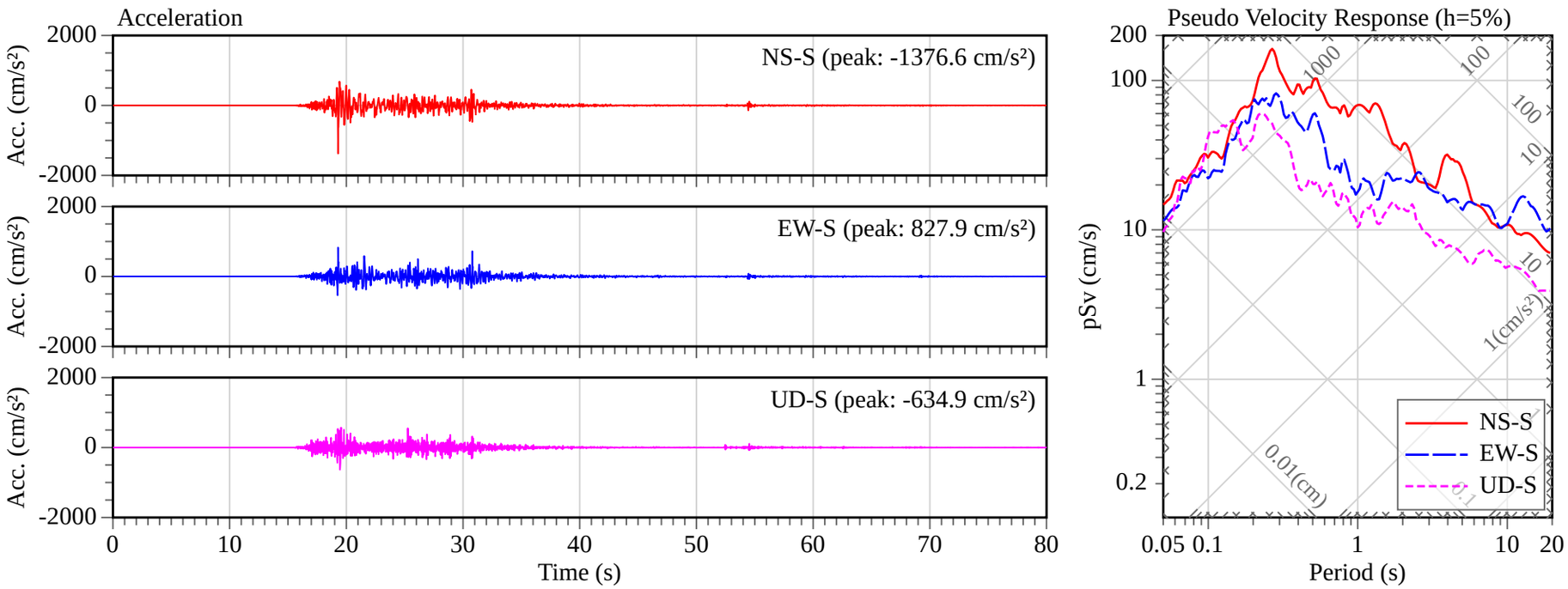
主なK-NET, KiK-net記録

データ種別	観測点コード	記録開始時刻	観測点緯度[度]	観測点経度[度]	最大加速度[gal]	最大速度[cm/s]	計測震度	震央距離[km]	観測点名
KiK-net	KMMH07	2026/07/28 16:27:03	32.6234	130.5584	1667.4	50.7	5.8	14	三角
K-NET	KMM013	2026/07/28 16:27:06	32.3644	130.5089	951.7	36.7	5.6	32	田浦
KiK-net	KMMH14	2026/07/28 16:27:03	32.6345	130.7521	864.3	93.0	6.3	6	豊野
KiK-net	KMMH16	2026/07/28 16:27:05	32.7967	130.8199	724.8	81.8	6.1	25	益城
K-NET	KMM008	2026/07/28 16:27:03	32.6875	130.6598	668.5	70.7	6.0	10	宇土
K-NET	KMM011	2026/07/28 16:27:04	32.6166	130.8635	665.9	37.6	5.7	15	砥用
K-NET	KMM018	2026/07/28 16:27:07	32.3941	130.3898	581.8	20.5	4.9	37	龍ヶ岳
K-NET	KMM012	2026/07/28 16:27:04	32.5099	130.5908	482.7	131.2	5.7	14	八代
K-NET	KMM009	2026/07/28 16:27:06	32.6864	130.9886	451.6	17.0	4.9	29	矢部
KiK-net	KMMH10	2026/07/28 16:27:10	32.3151	130.1811	441.4	24.0	5.3	58	新和
K-NET	KMM006	2026/07/28 16:27:04	32.7934	130.7772	399.0	61.3	5.4	23	熊本
K-NET	KGS001	2026/07/28 16:27:12	32.1947	130.1763	357.8	13.4	4.7	67	東
K-NET	KGS005	2026/07/28 16:27:15	31.9006	130.4513	324.8	24.1	5.1	81	宮之城
K-NET	KMM015	2026/07/28 16:27:10	32.2161	130.4059	298.1	27.6	5.2	51	水俣
K-NET	KMM007	2026/07/28 16:27:09	32.8268	131.1224	265.2	13.1	4.8	47	高森



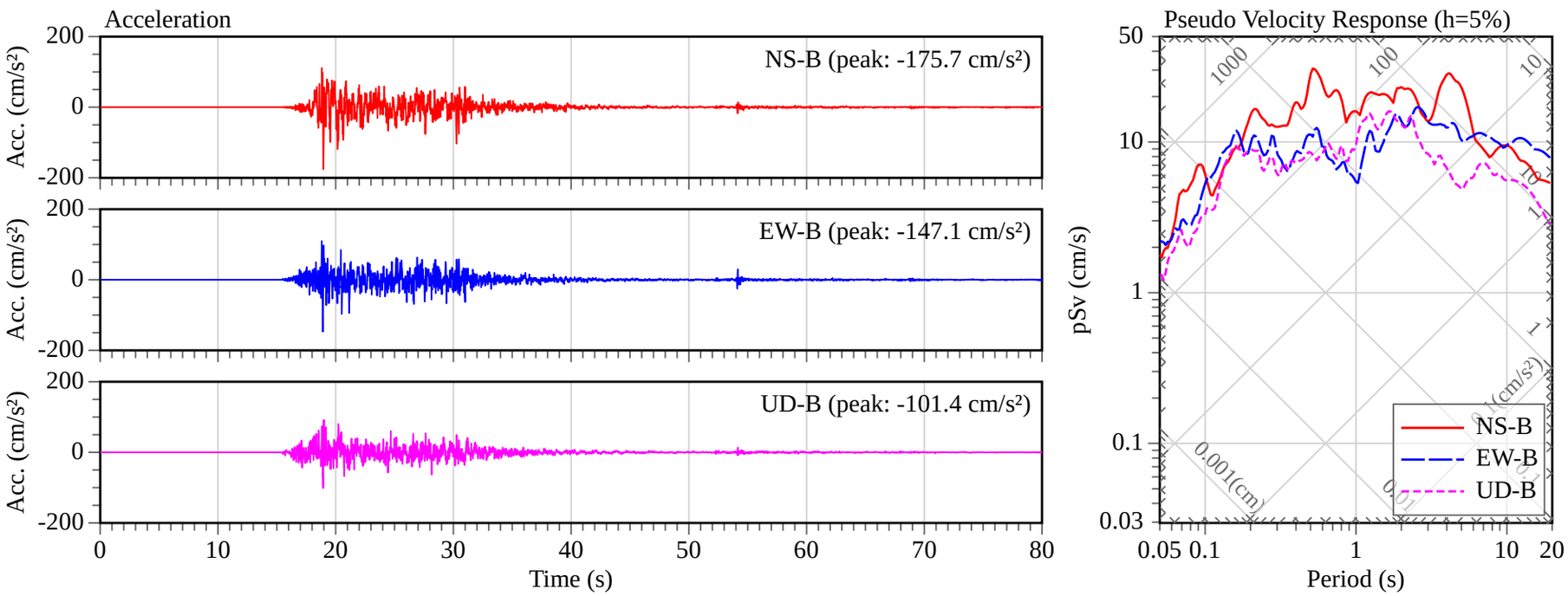
防災科学技術研究所のwebページより
https://www.kyoshin.bosai.go.jp/ja/eqdownload/

主なKiK-net記録



2026/07/28 16:27:03 at KMMH07: KiK-net station, Intensity: 5.8

地表



2026/07/28 16:27:03 at KMMH07: KiK-net station, Intensity: 4.4

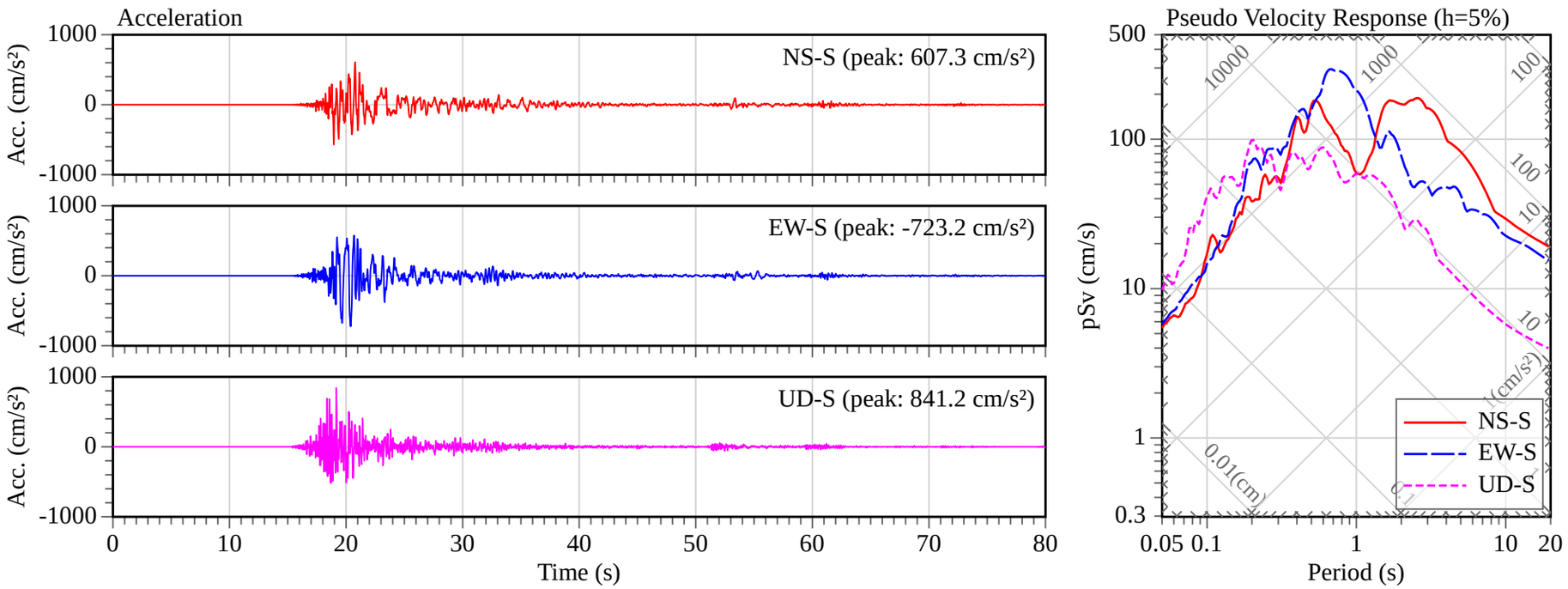
地中

KMMH07　三角(5.8)

震度6弱

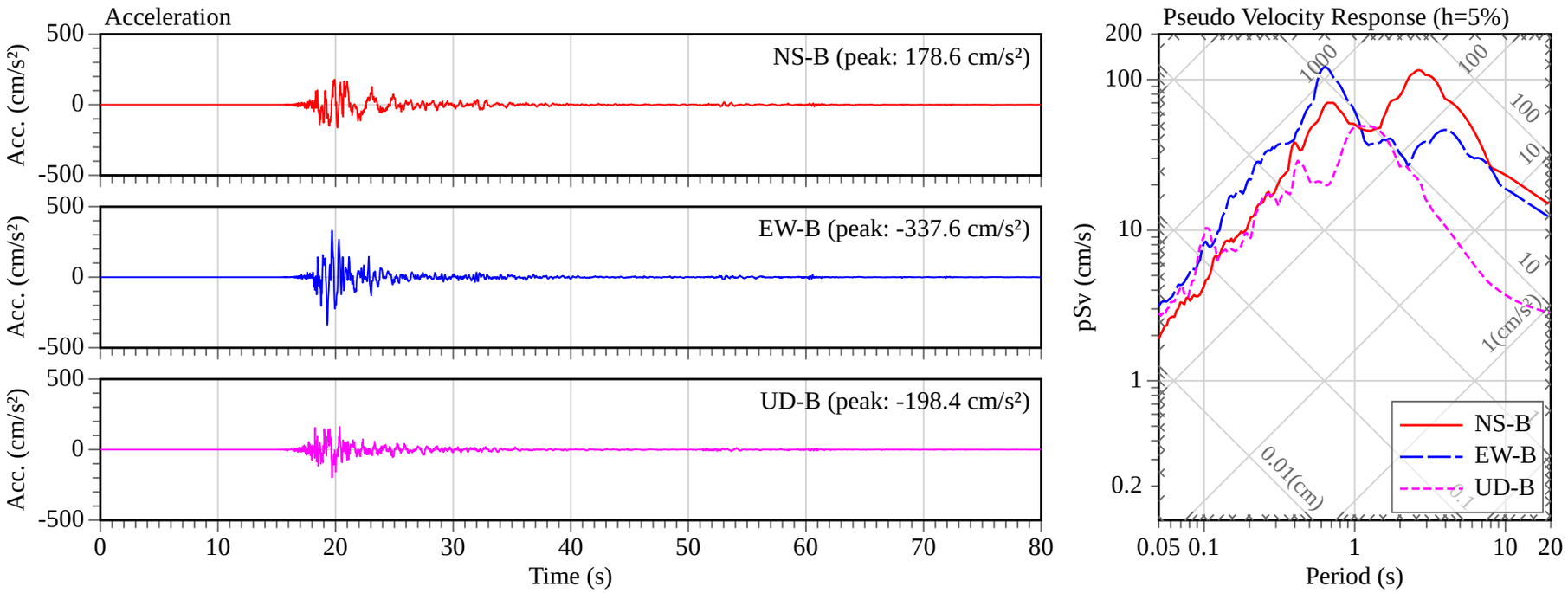
(　)内数値は地表の計測震度

主なKiK-net記録



2026/07/28 16:27:03 at KMMH14: KiK-net station, Intensity: 6.4

地表



2026/07/28 16:27:03 at KMMH14: KiK-net station, Intensity: 5.5

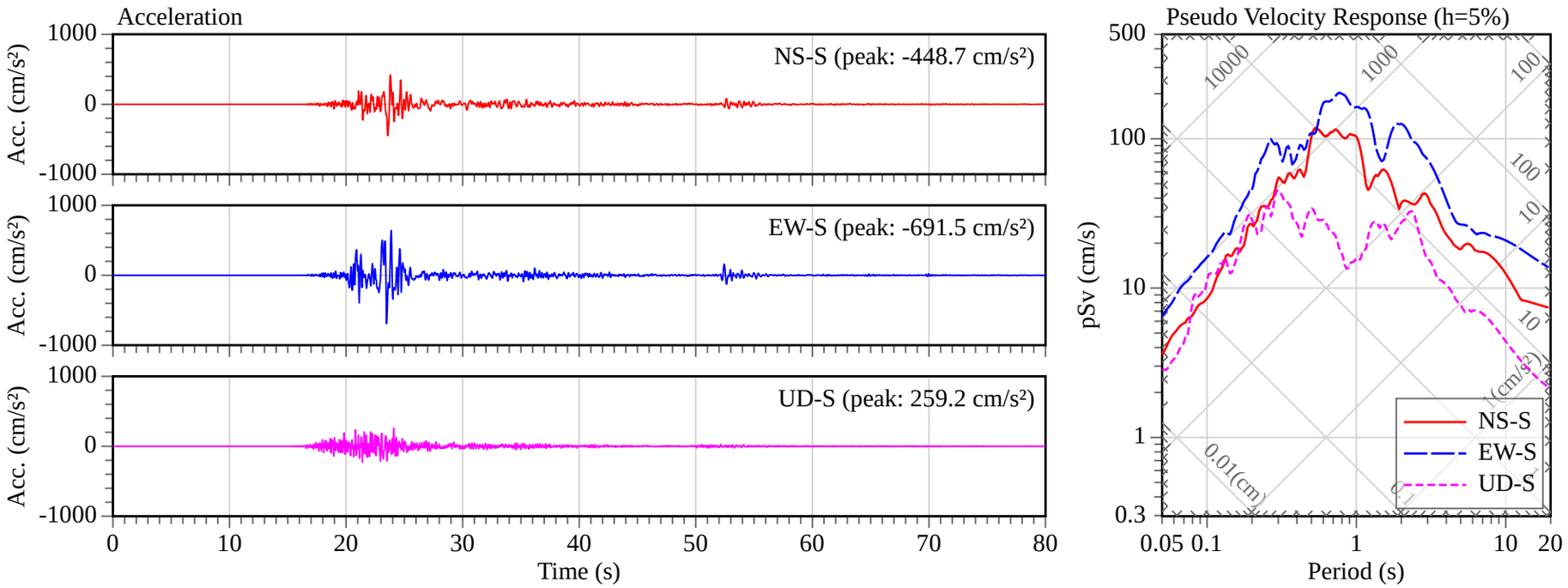
地中

KMMH14　豊野(6.3)

震度6強

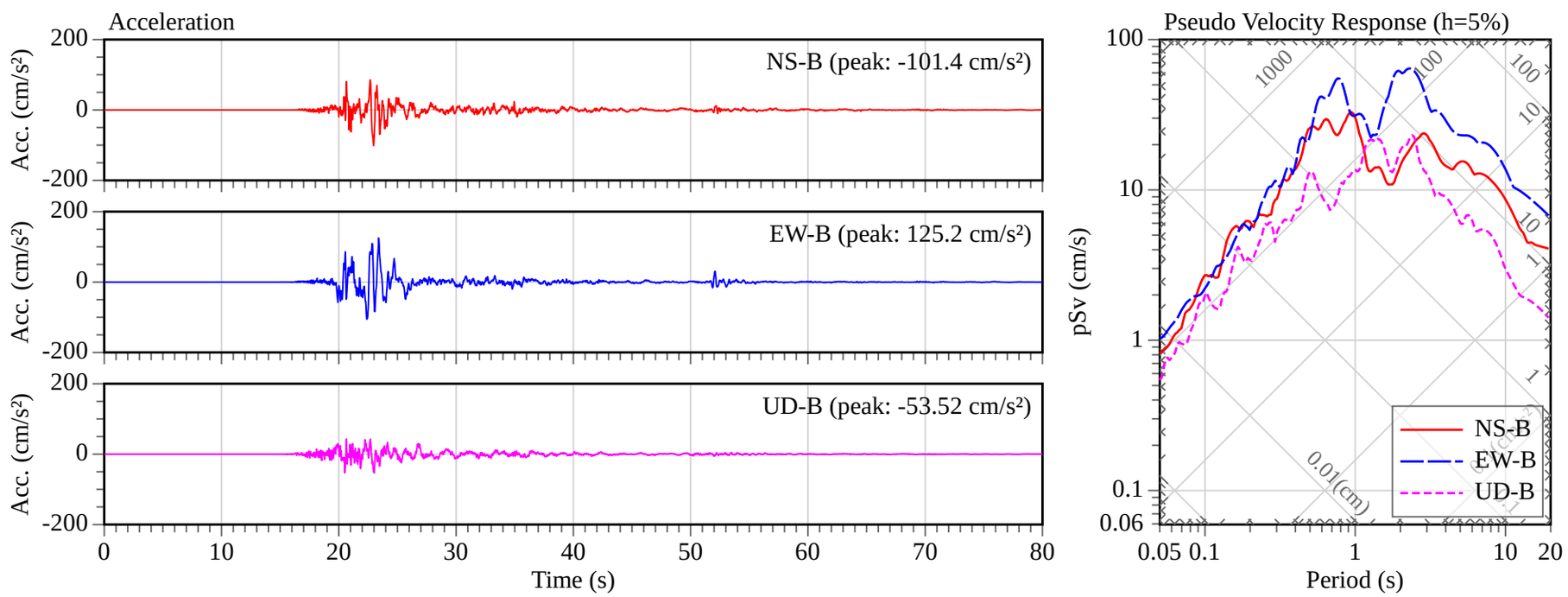
(　)内数値は地表の計測震度

主なKiK-net記録



2026/07/28 16:27:05 at KMMH16: KiK-net station, Intensity: 6.2

地表



2026/07/28 16:27:05 at KMMH16: KiK-net station, Intensity: 4.9

地中

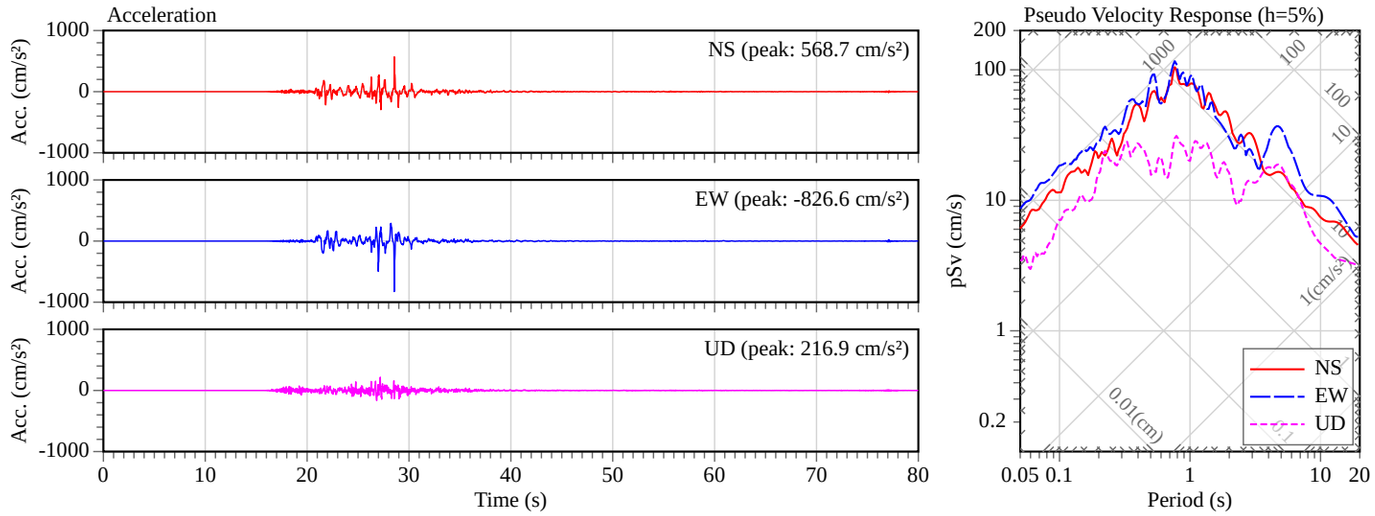
KMMH16　益城(6.1)

震度6強

(　)内数値は地表の計測震度

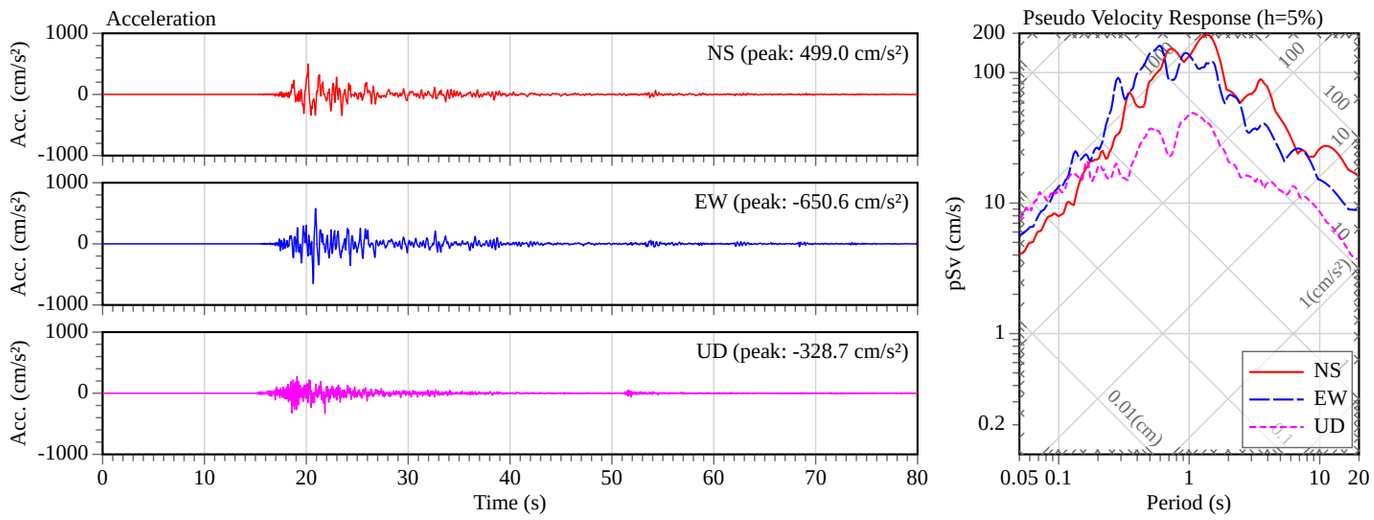
主なK-NET記録

KMM013　田浦(5.6)
震度6弱



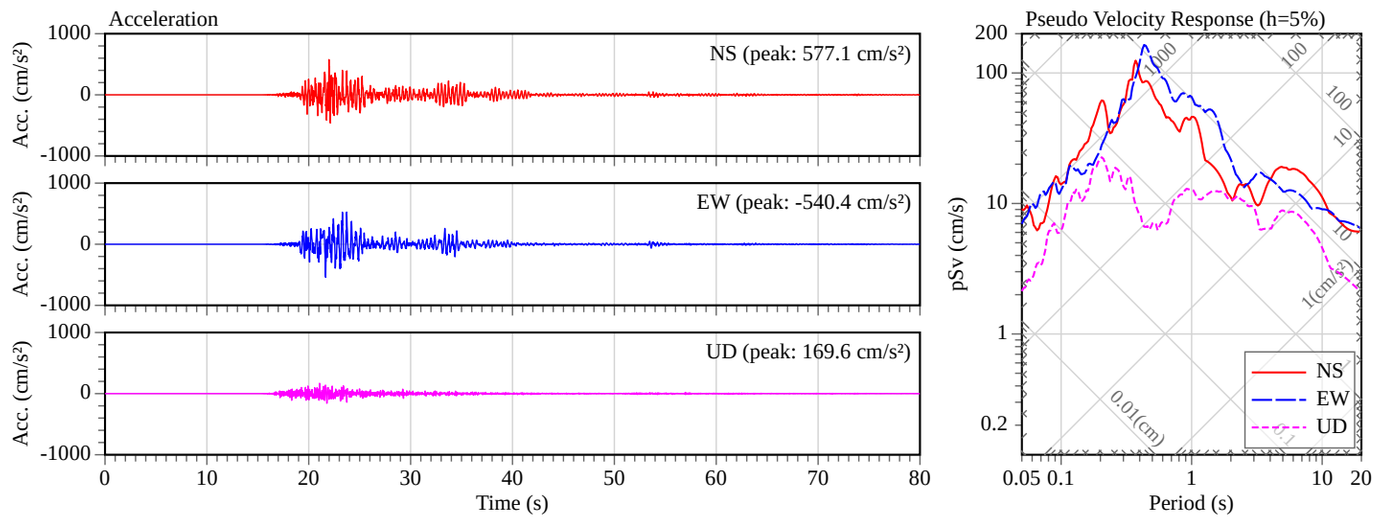
2026/07/28 16:27:06 at KMM013: K-NET station, Intensity: 5.7

KMM008　宇土(6.0)
震度6強



2026/07/28 16:27:03 at KMM008: K-NET station, Intensity: 6.1

KMM011　砥用(5.7)
震度6弱

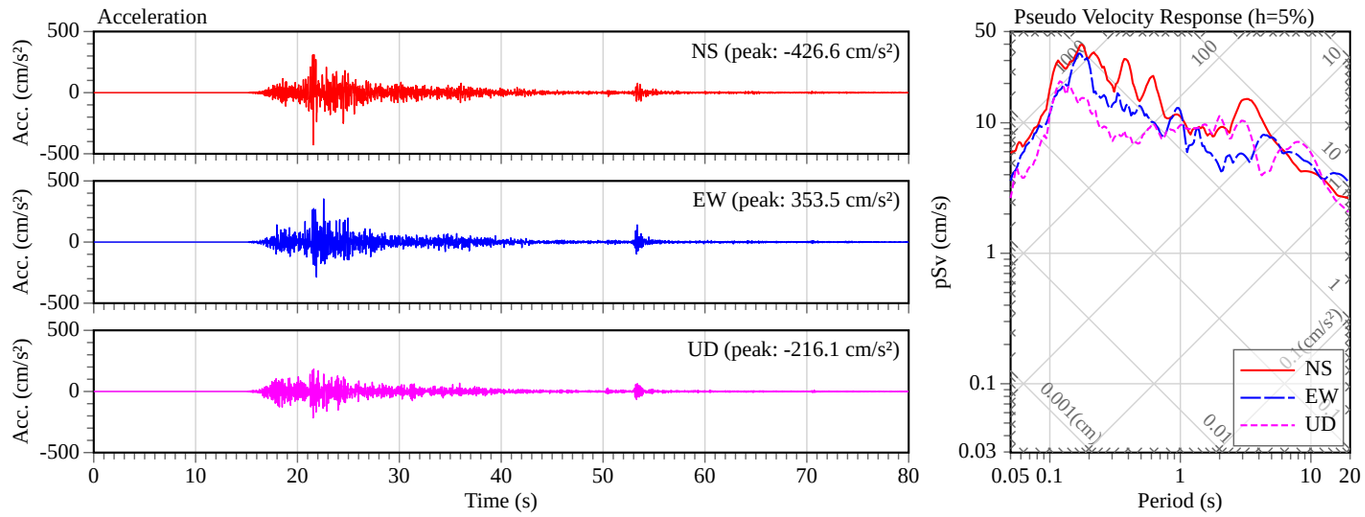


2026/07/28 16:27:04 at KMM011: K-NET station, Intensity: 5.7

(　)内数値は計測震度

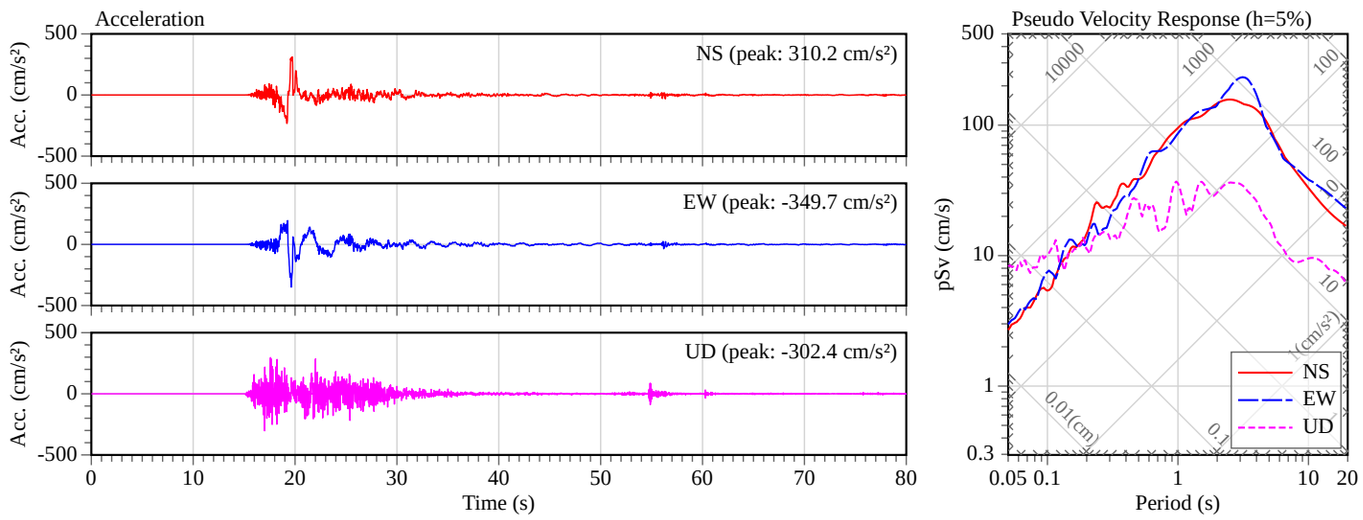
主なK-NET記録

KMM018　龍ヶ岳(4.9)
震度5弱



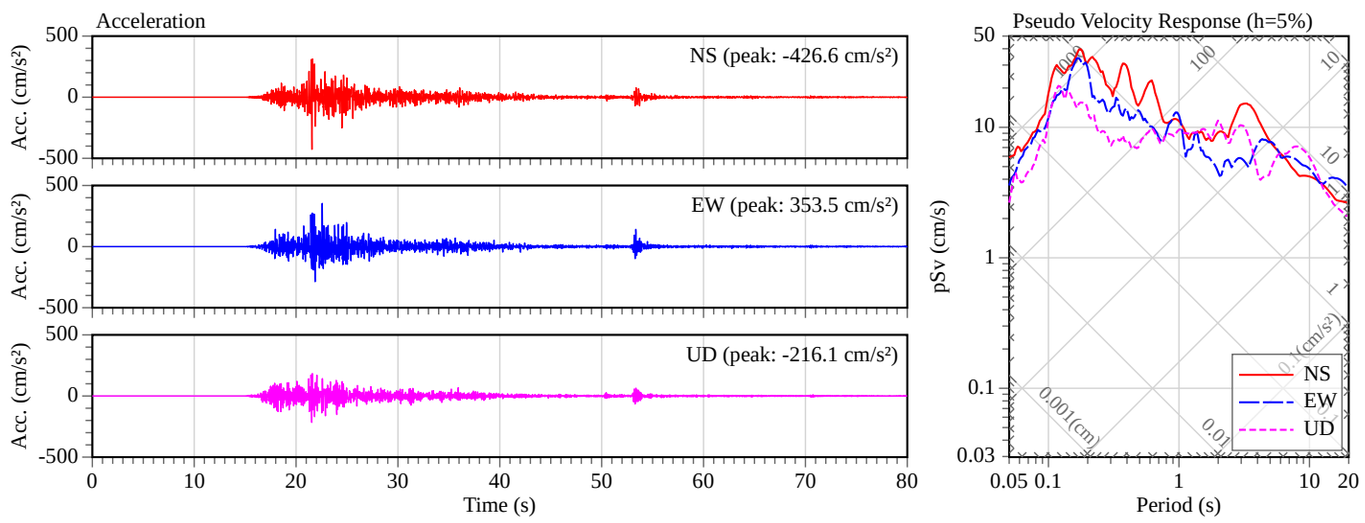
2026/07/28 16:27:06 at KMM009: K-NET station, Intensity: 4.9

KMM012　八代(5.7)
震度6弱



2026/07/28 16:27:04 at KMM012: K-NET station, Intensity: 5.8

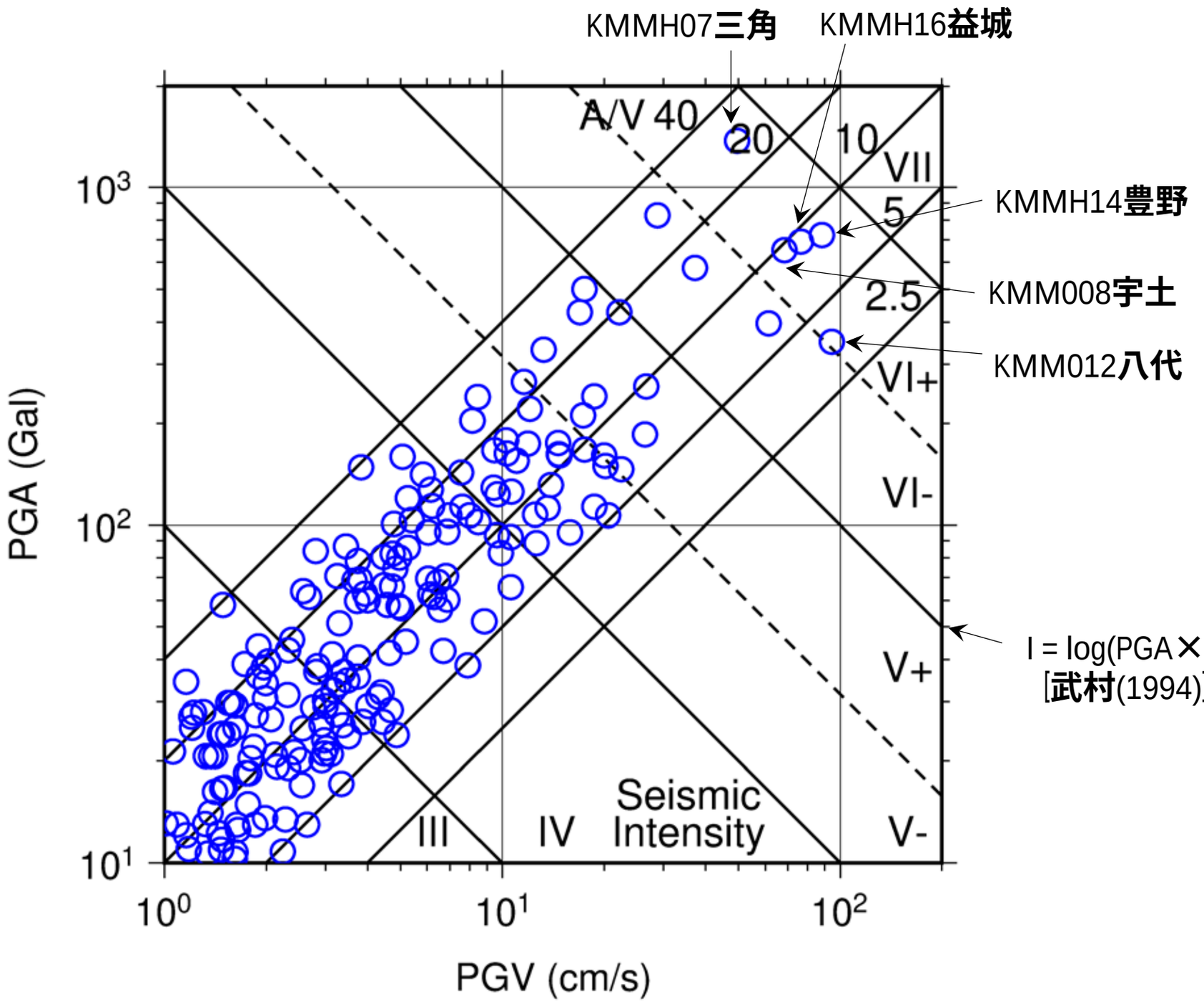
KMM009　矢部(4.9)
震度5弱



2026/07/28 16:27:06 at KMM009: K-NET station, Intensity: 4.9

(　)内数値は計測震度

最大加速度-最大速度-震度Ｉの関係 (K-NET,KiK-net地表)



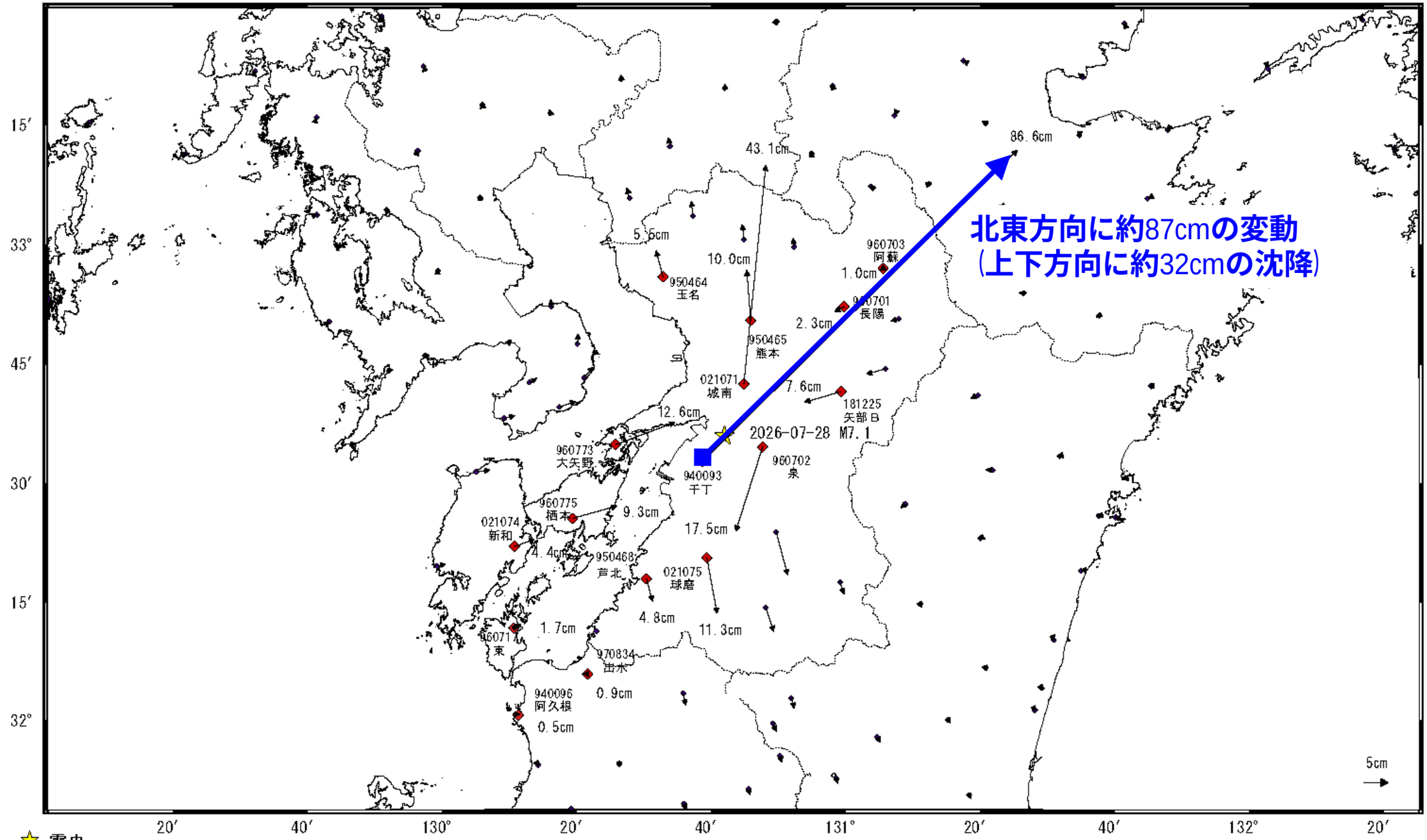
※PGAとPGVは，それぞれNSとEWの大きい方

電子基準点による地殻変動

令和８年熊本地震(7月28日 M7.1)前後の地殻変動(暫定)

地殻変動(水平)

基準期間:2026-07-21 00:00～2026-07-27 23:59[R5.1:速報解]
比較期間:2026-07-28 21:00～2026-07-29 05:59[Q5.1:迅速解]



☆ 震央
☆ 固定局:上対馬(950456)(長崎県)

国土地理院のwebページよりhttps://www.gsi.go.jp/common/000279749.pdf

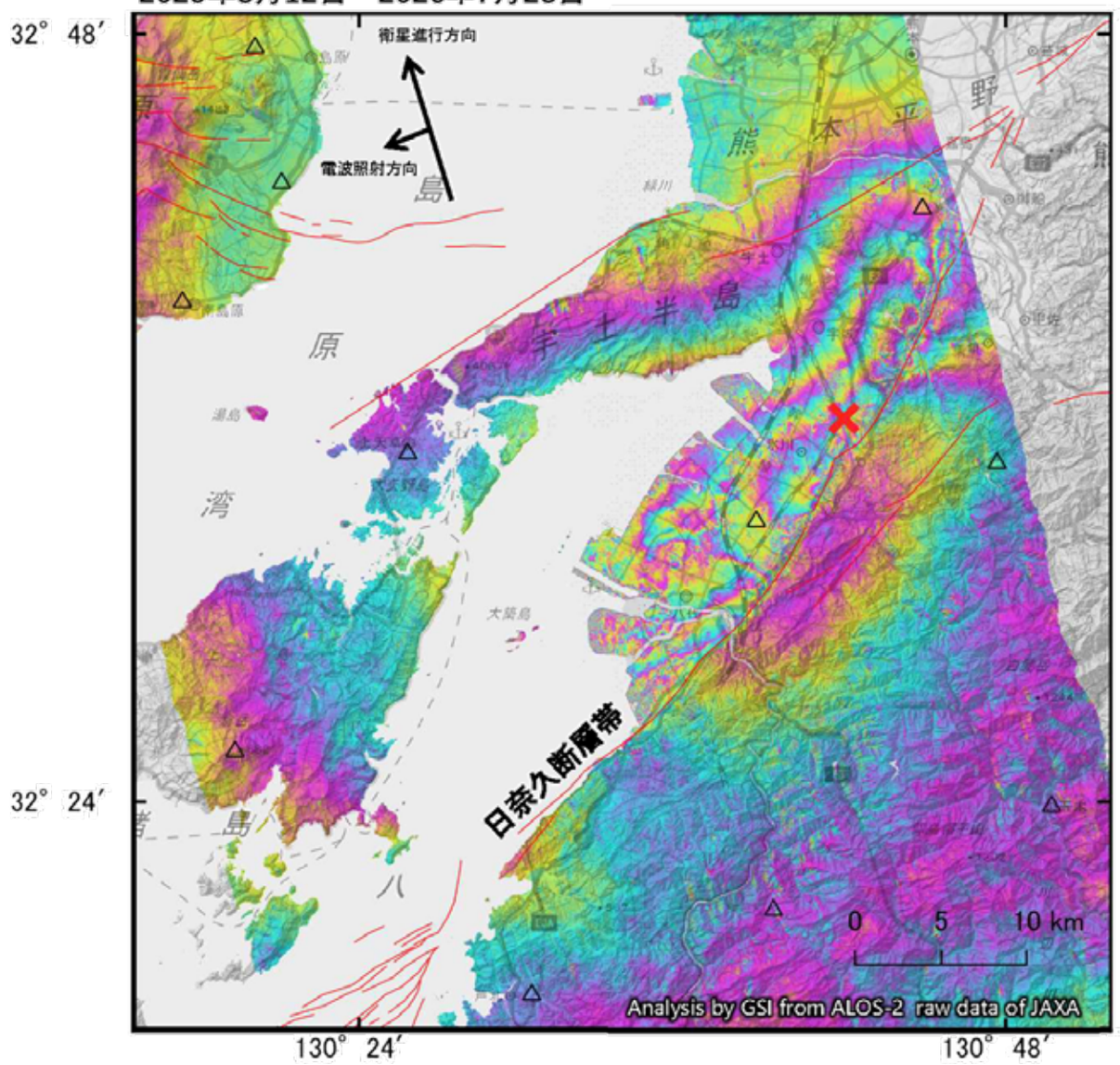
令和8年7月29日
国土地理院

「だいち２号」観測データのSAR干渉解析による 令和８年熊本地震（2026年7月28日）に伴う地殻変動

日奈久断層帯の北西部では最大約50cmの衛星に近づく変動、南東部では最大約10cmの衛星に近づく変動が見られます。

※東側上空からの観測のため、衛星に近づく変動は東向きの変動又は隆起を示しています。

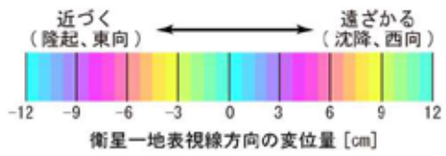
2025年8月12日～2026年7月28日



△　国土地理院GNSS観測点

✕　震央　2026-07-28 16:27
深さ16km　M7.1（気象庁発表）

—　主要活断層帯（地震調査研究推進本部による）



1回目観測日	2025-08-12（だいち２号）
2回目観測日	2026-07-28（だいち２号）
観測時刻	23:30頃
取得間隔	350日間
衛星進行方向	北行
電波照射方向	左(西)
観測モード*	U-U
入射角	48.3°
偏波	HH
垂直基線長	+ 139m

*　U：高分解能(3m)モード

背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

本解析で使用したデータは、JAXAとの協定及び地震活動SAR解析ワーキンググループの活動を通して得られたものです。
対流圏遅延補正には、気象庁数値予報格子点データを使用しています。

国土地理院のwebページよりhttps://www.gsi.go.jp/common/000279738.pdf

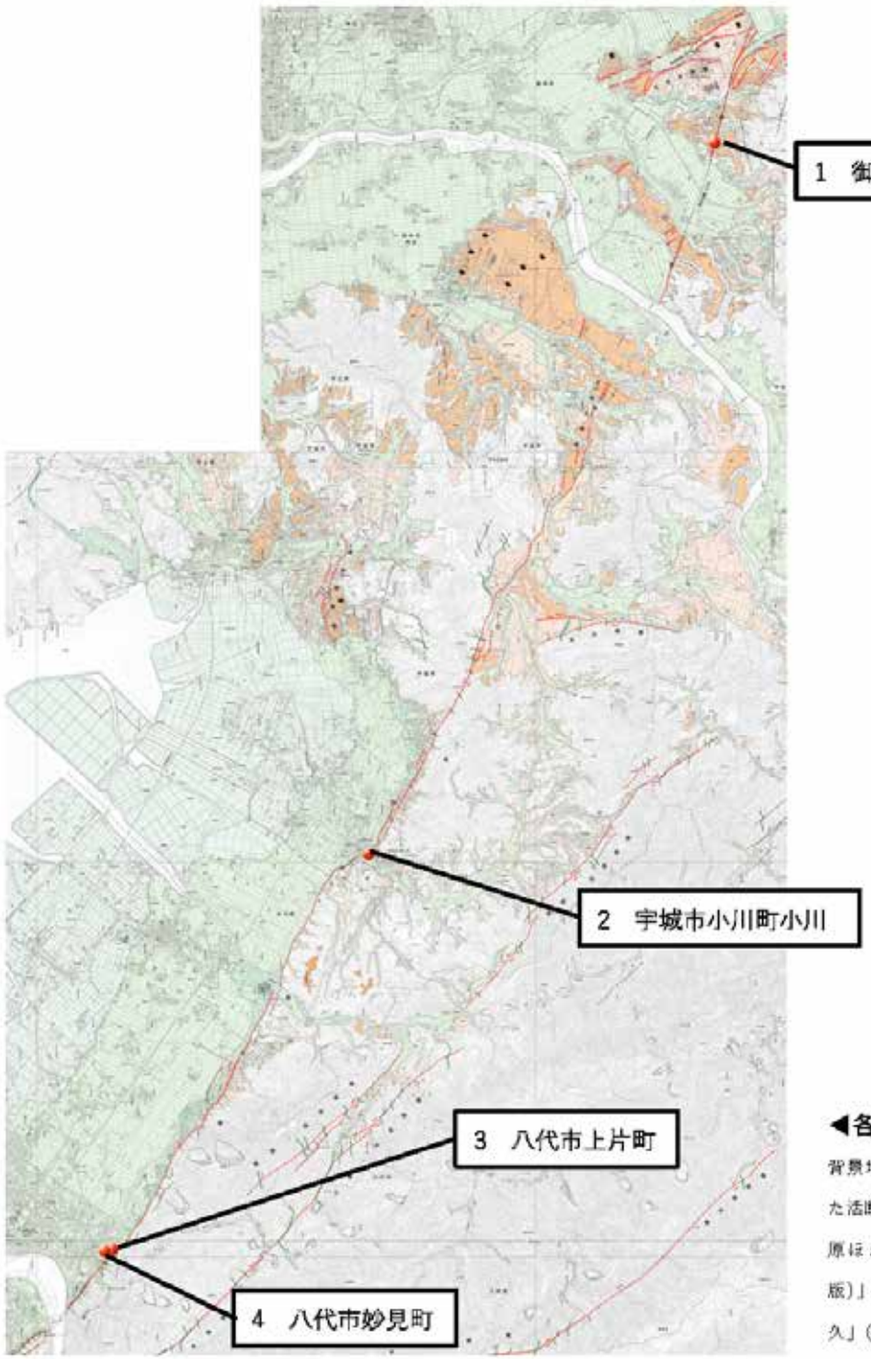
日奈久断層帯沿いに現れた地表地震断層

2026/07/29

日奈久断層帯沿いに現れた地表地震断層（速報）

鳥井真之会員（熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター）による調査写真

※本資料は現地からの情報に基づき日本活断層学会災害委員会代理作成



◀各写真の撮影地点

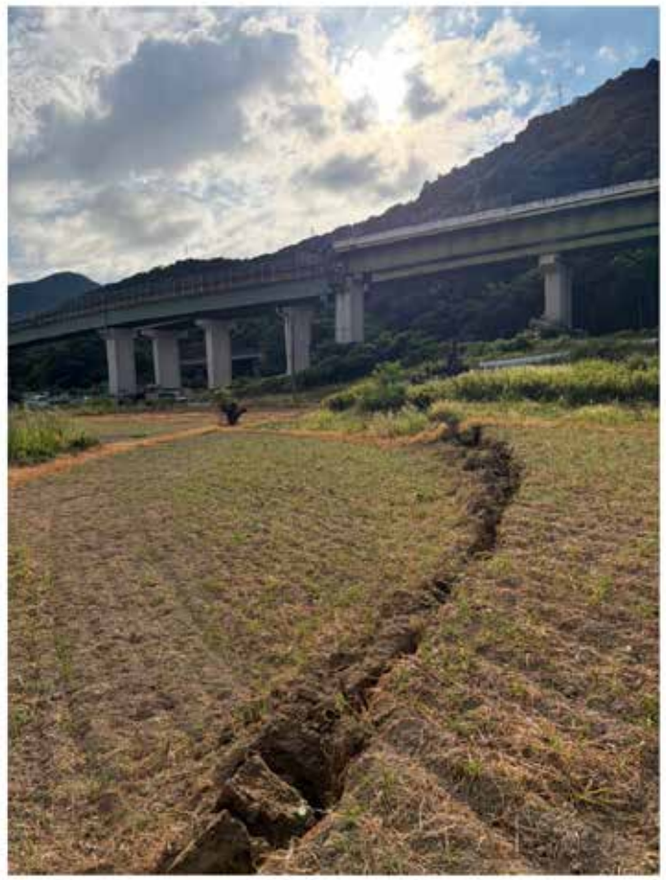
背景地図は地理院地図で表示した活断層図「熊本（改訂版）」（熊原ほか，2017）・「八代（改訂版）」（後藤ほか，2018）・「日奈久」（千田ほか，2018）。

1　御船町高木

本地点では 2016 年熊本地震の際も地表地震断層が確認されている。

2　宇城市小川町小川

3　八代市上片町



写真奥は九州自動車道・南九州自動車道分岐付近の高架橋

4　八代市妙見町

日本活断層学会のwebページよりhttps://jsaf.info/jishin/items/docs/20260729150119.pdf

令和8年熊本地震の震源過程（2026年7月28日, 暫定）

防災科学技術研究所 防災科研

2026年7月28日16時27分頃に熊本県で発生した地震（Mj 7.1; 気象庁）について、強震波形記録を用いた震源インバージョン解析を行った。

- 記録：K-NET・KiK-net ・F-netの15観測点における速度波形三成分のS波部分（0.08–0.8 Hz）
- 解析手法：マルチタイムウィンドウ線形波形インバージョン
  （小断層2 km×2 km、0.8秒幅のタイムウィンドウを0.4秒ずらして9個並べる）
- 断層面設定：走向211°　・傾斜76°　（F-net解による）、大きさ28 km ×16 km、破壊開始点はHi-net震源位置
  ＊ここで設定した断層面は解析の都合上仮定したものであり、必ずしも実際の断層面を反映しているわけではないことに留意
- 推定結果：M_0=2.2×10^{19} Nm（M_w 6.8）、最大すべり量5.2m、Vftw 1.6 km/s
  主たる破壊は破壊開始点から浅部に向かって伝播した後、南南西に向かった。

図1：観測点の分布と断層面の地表投影。星印は破壊開始点を示す。

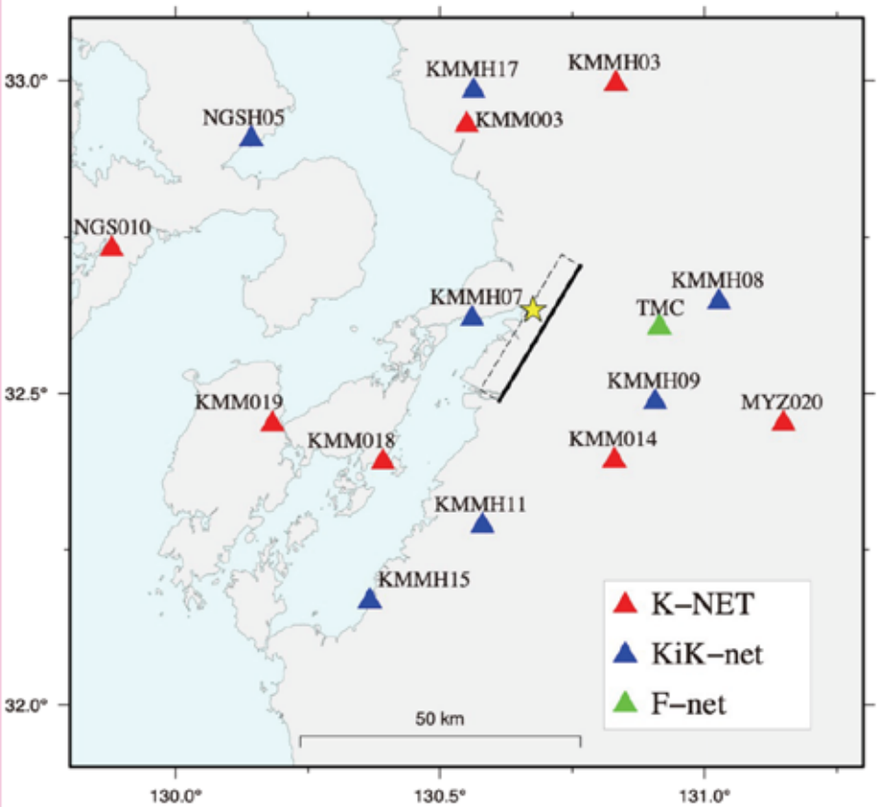
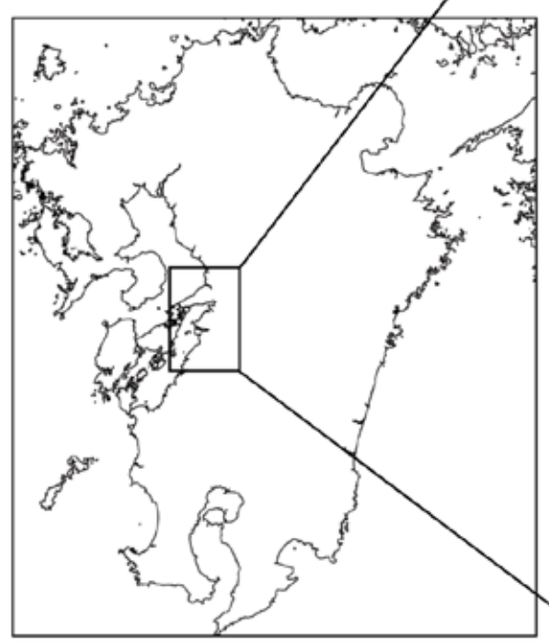
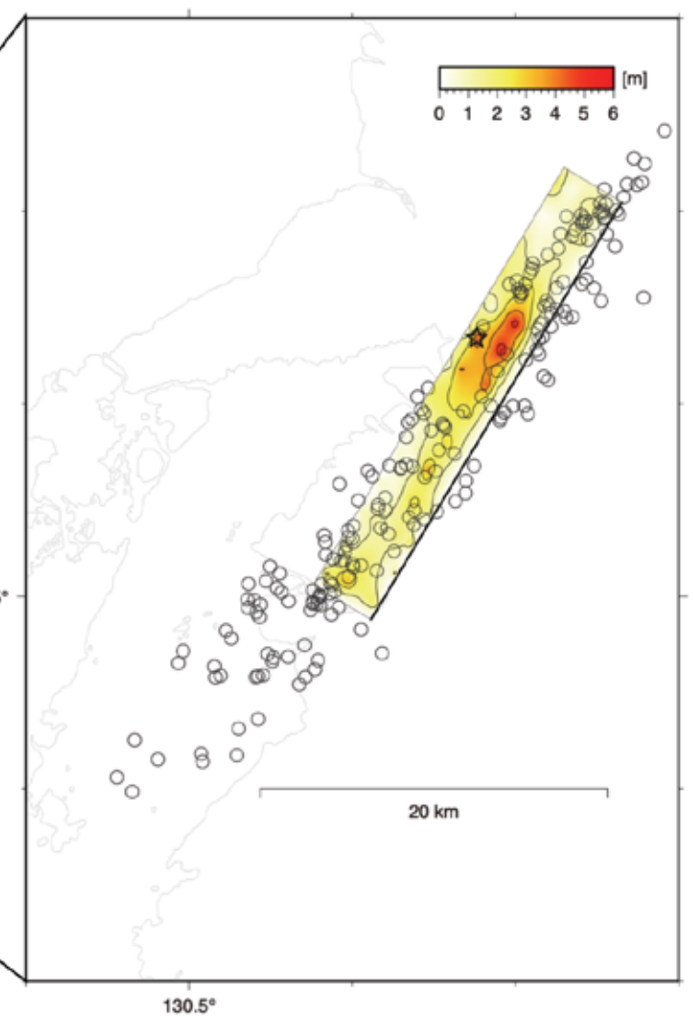


図2：2026年7月28日令和8年熊本地震のすべり分布の地表投影をカラーで、破壊開始点を黒星で示す。灰色の丸は地震発生から12時間以内に発生したM≥2.5の地震の震央を表す。





地震本部のwebページよりhttps://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2026/20260728_kumamoto_1.pdf

令和8年熊本地震の震源過程（2026年7月28日, 暫定）

防災科学技術研究所 防災科研

図3：断層面上の最終すべり分布図。ベクトルは上盤のすべり方向とすべり量を、星印は破壊開始点を示す。コンターは1.2m毎のすべり量を示す。

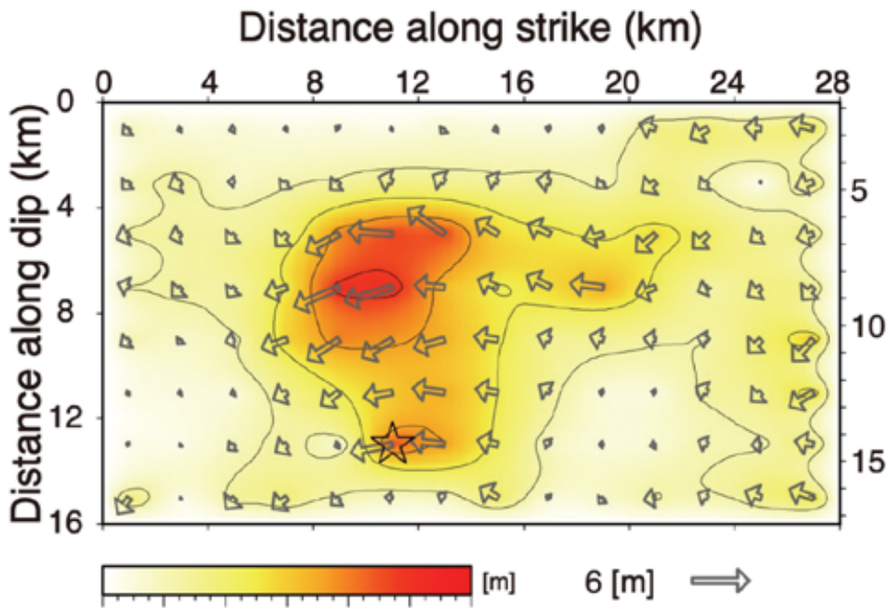


図4：破壊の時間進展過程。3.0秒ごとのすべり分布を地表投影している。コンターは0.8m毎のすべり量を示す。

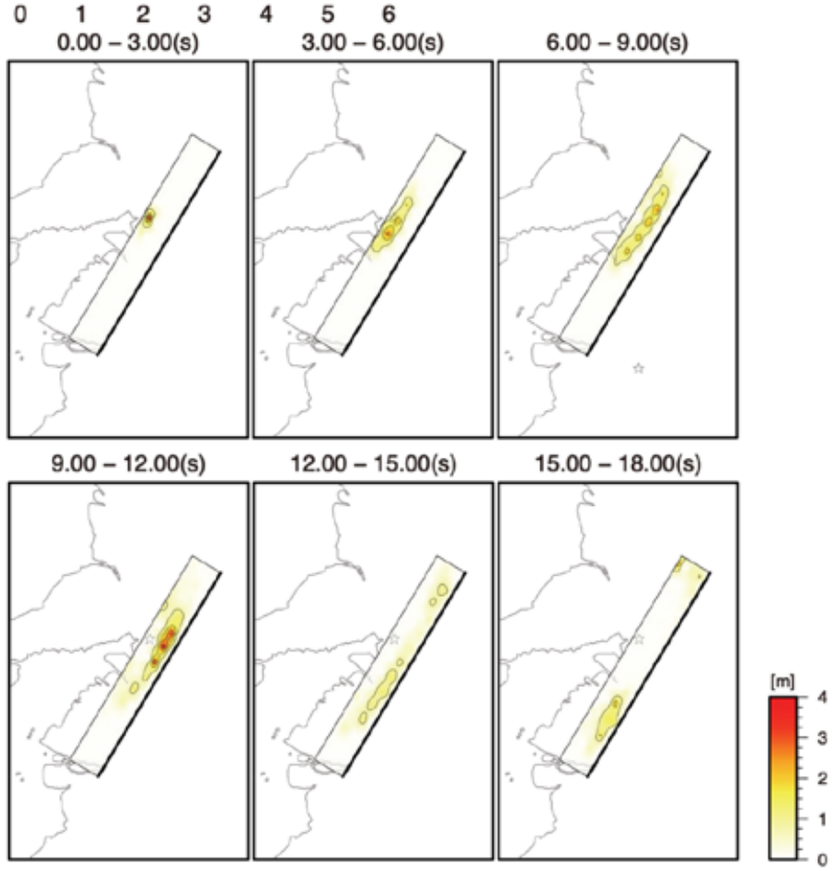
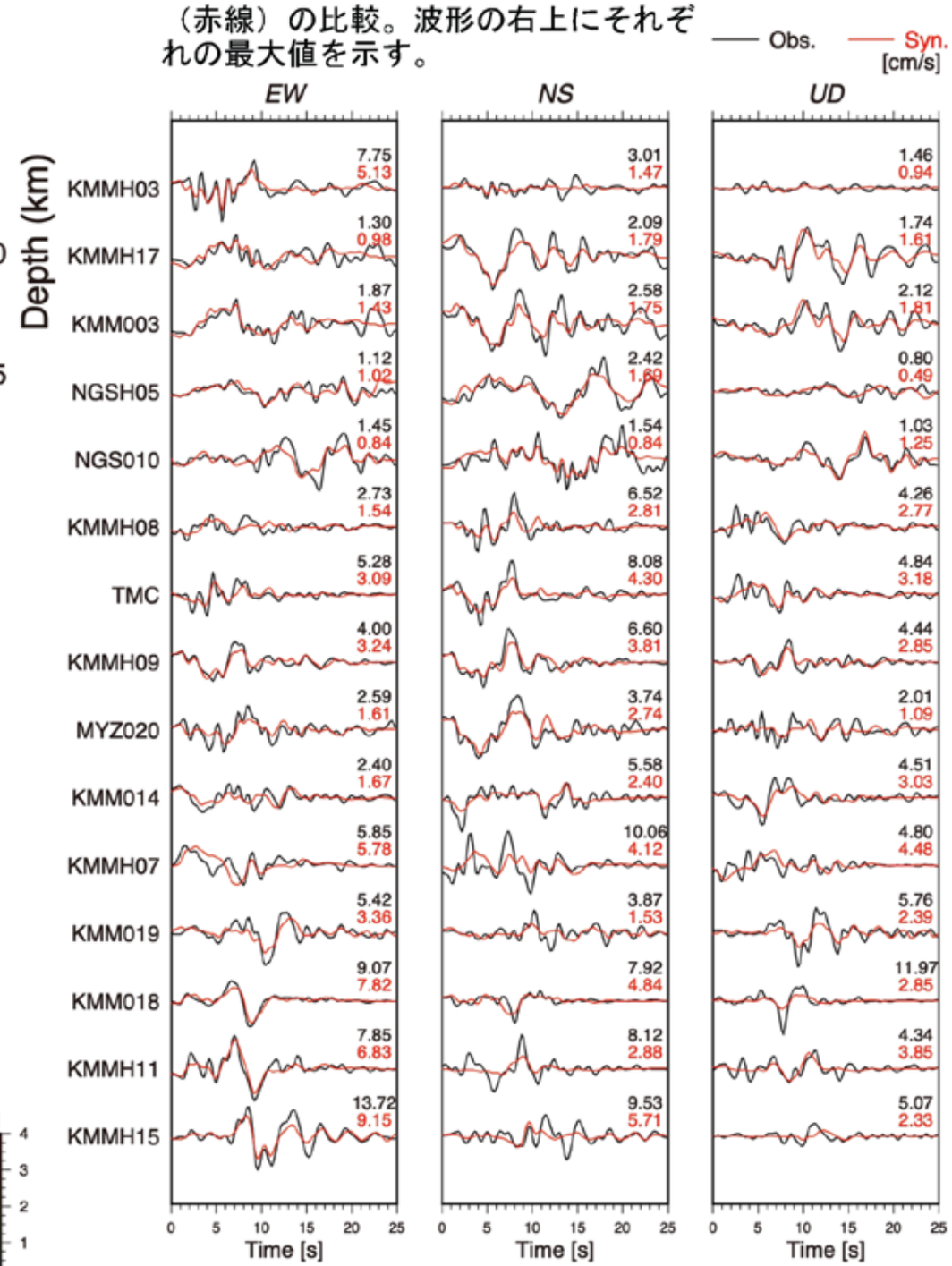


図5：観測波形（黒線）と理論波形（赤線）の比較。波形の右上にそれぞれの最大値を示す。

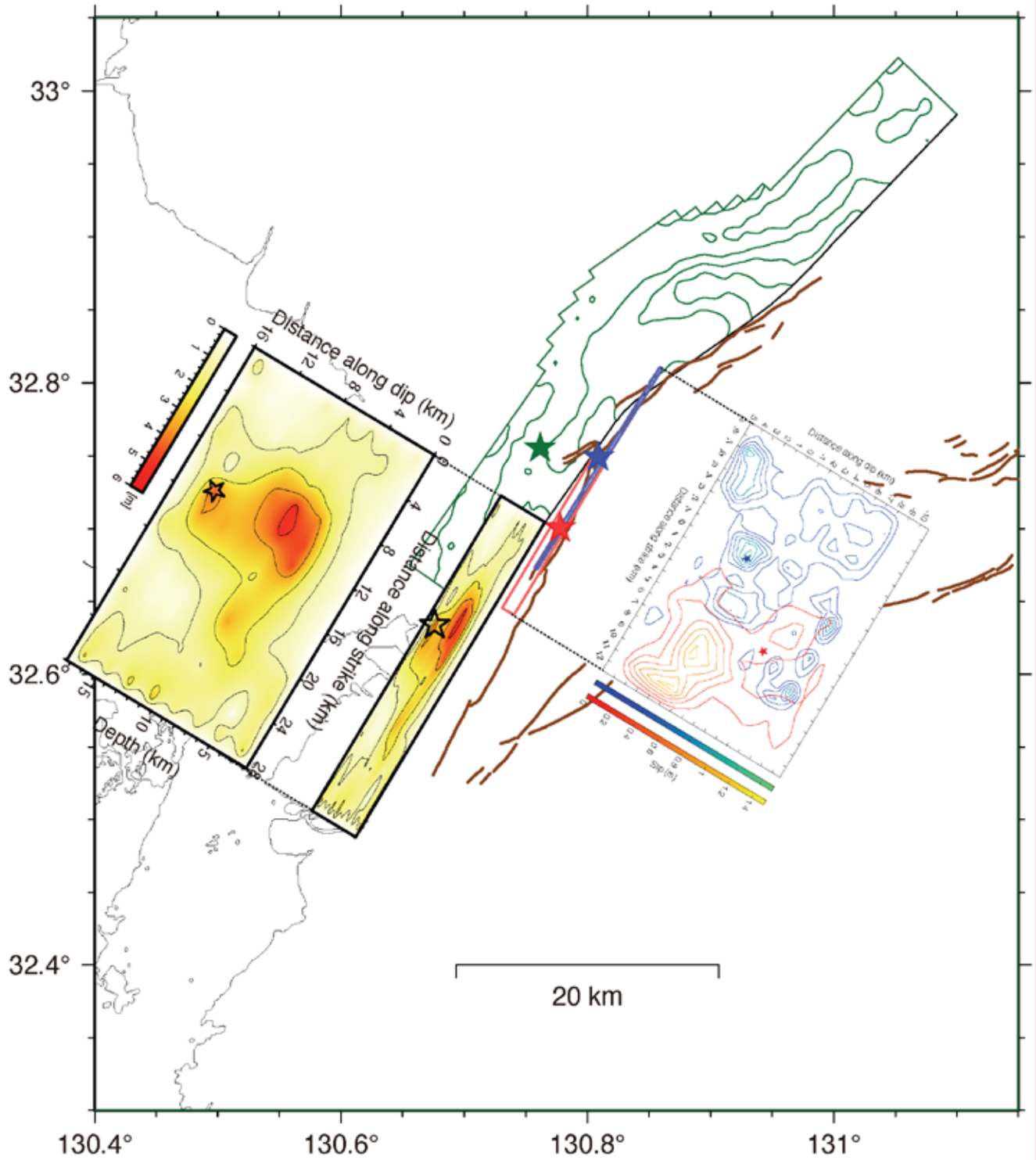


地震本部のwebページよりhttps://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2026/20260728_kumamoto_1.pdf

令和8年熊本地震の震源過程（2026年7月28日, 暫定）

防災科学技術研究所 防災科研

図6：令和8年熊本地震のすべり分布と過去の大規模地震のすべり分布の空間比較。令和8年熊本地震のすべり分布の地表投影をカラーで、破壊開始点を黒星で示す。黒のコンターは1.2m毎のすべり量を示す。2016年4月16日1時25分頃に発生したM_j7.3の平成28年熊本地震の震央を緑の星で、すべり分布を緑のコンターで示す(Kubo et al., 2016, EPS)。緑のコンターは0.8m毎のすべり量を表す。青の星と矩形は2016年4月14日21時26分頃に発生したM_j6.5の地震の震央と断層面を表す。赤の星と矩形は2016年4月15日0時3分頃に発生したM_j6.4の地震の震央と断層面を示す。青と赤のコンターはそれぞれM_j6.5の地震とM_j6.4の地震の0.2m毎の断層すべり分布を表す(Shibata and Aso, 2025, BSSA, 図11に加筆修正)。紫線はAIST (2007)による活断層の地表トレースを表す。



京都大学防災研究所　2026 年 7 月 29 日

強震波形記録による令和 8 年熊本地震の震源過程（暫定）

- 地震モーメント　2.1×10^{19} Nm (Mw 6.8)、平均すべり量　0.8 m、最大すべり量　2.4 m
- 第 1 タイムウィンドウフロントの破壊伝播速度　2.8 km/s
- 大きなすべりは、破壊開始点から浅部に向かって拡がり、南北約 12 km の範囲に集中
- 仮定した断層面の南西部でのすべり量は小さく、南端の設定については精査が必要な可能性あり

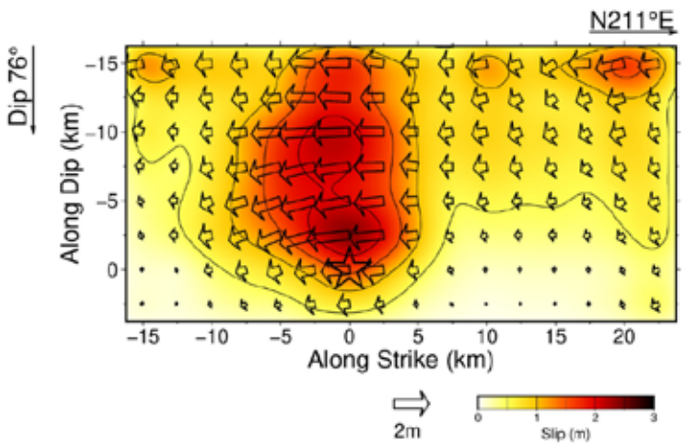


図 1：断層面上の最終すべり分布
（☆は破壊開始点、断層面は解析上設定したもの）

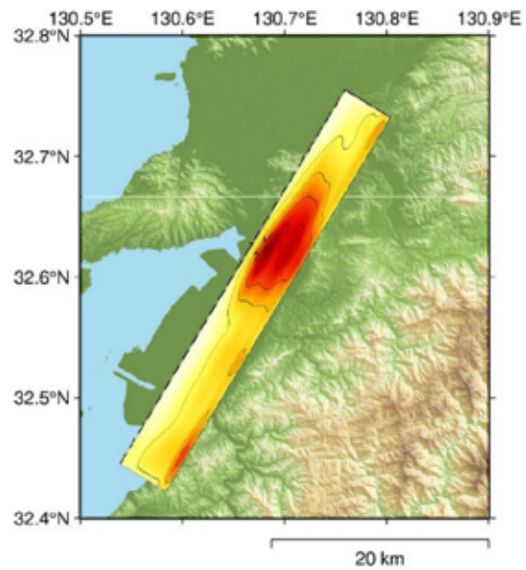


図 2：すべり分布の地表投影

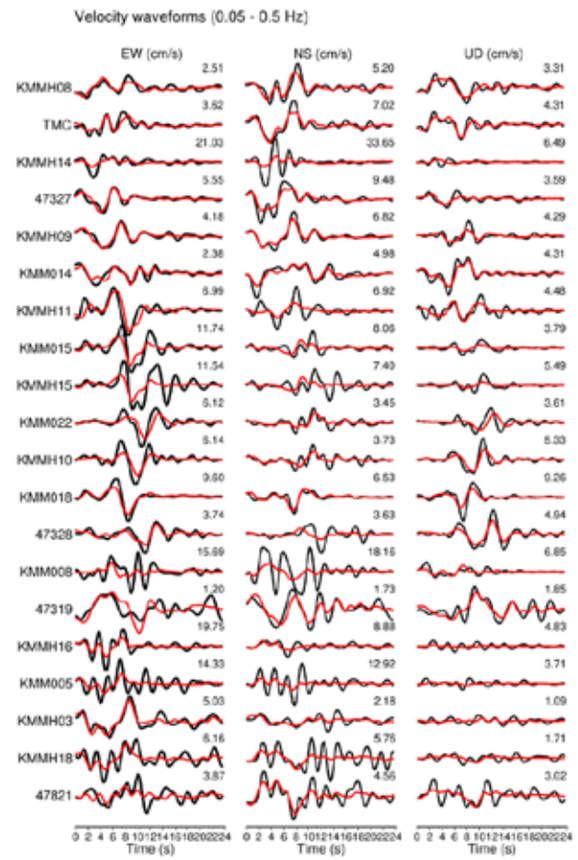


図 3　速度波形（0.05～0.5 Hz）の比較
（黒：観測、赤：合成）

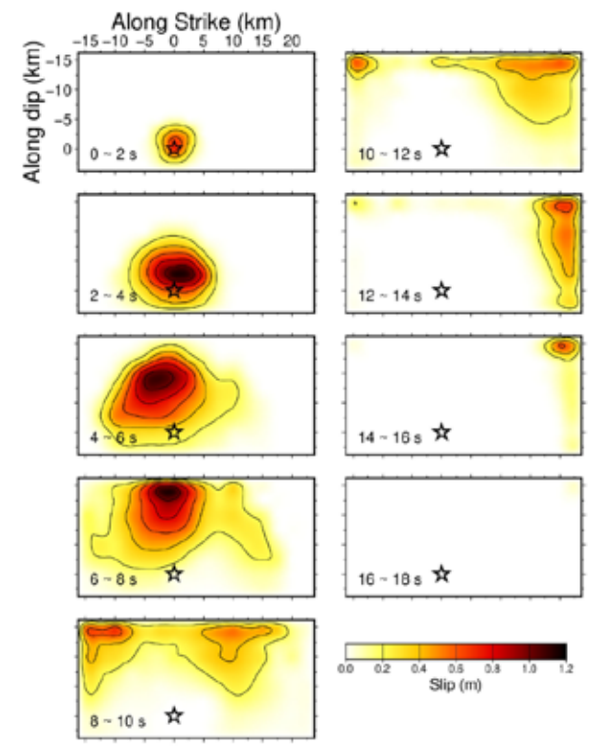


図 4：２秒ごとのすべりのスナップショット

令和８年熊本地震による被害及び消防機関等の対応状況（第１７報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

令和８年７月２９日（水）１６時３０分
消　防　庁　災　害　対　策　本　部
※下線部は前報からの変更箇所

１　地震の概要（気象庁情報）

(1)　①　発生日時　　令和８年７月２８日　１６時２７分
　　②　最大震度
　　震度７　　熊本県：宇城市、氷川町
　　③　津波注意報　令和８年７月２８日　１６時２９分　発表
　　有明・八代海
　　→令和８年７月２８日　１８時１０分　解除

(2)　①　発生日時　　令和８年７月２８日　１６時２９分頃
　　②　最大震度
　　震度５弱　　熊本県：宇城市

(3)　①　発生日時　　令和８年７月２８日　１７時０８分頃
　　②　最大震度
　　震度５弱　　熊本県：八代市、上天草市、天草市、美里町、芦北町

(4)　①　発生日時　　令和８年７月２８日　１９時０３分頃
　　②　最大震度
　　震度５弱　　熊本県：宇城市

２　被害の状況

(1)　人的被害・住家被害

都道府県	人的被害							住家被害					
	死者	うち災害関連死者	行方不明者	負傷者 重傷	負傷者 軽傷	負傷者 小計	合計	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	一部破損	合計
	人	人	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟
福岡県					1	1	1					4	4
熊本県	3			8	12	20	23						
大分県					1	1	1						
鹿児島県					1	1	1						
合　計	3			8	15	23	26					4	4

≪死者の内訳≫
【熊本県】嘉島町２人、甲佐町１人

(2)　消防本部等情報
　①　被害の状況（上記ほか）
　　【熊　本　県】死者１３人を含む傷病程度・災害との関連調査中の負傷者多数
　②　火災等の発生状況
　・火災：発生していた９件は全て鎮火済み
　・救助：発生していた５５件のうち対応中の主な事案は以下のとおり

【熊本県】
・八代市において工場の煙突崩落
　→八代広域行政事務組合消防本部、緊急消防援助隊鹿児島県大隊及び岡山県大隊により対応中
・嘉島町において商業施設の２階部分が崩落
　→緊急消防援助隊福岡県大隊及び佐賀県大隊等により対応中
・氷川町において住宅座屈が２件発生
　→緊急消防援助隊大分県大隊により対応中

(3)　重要施設の被害
　現時点で被害報告なし

消防庁のwebページより https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/20260728kumamotojishin17.pdf

現時点（2026/7/29 21:00）のまとめ

- 今回の地震は、気象庁によれば**熊本県熊本地方の深さ16km**で発生した**M7.1**の東北東－西南西方向に圧縮軸を持つ**横ずれ断層型**の地震
- 気象庁では、今回の地震及びそれ以降に発生した一連の地震活動の名称を「**令和8年熊本地震**」と定めた
- **最大震度は気象庁では7**を観測（熊本県の宇城市（うきし）と氷川町（ひかわちょう））。北陸地方から九州地方にかけて震度6強～1を観測。
- **長周期地震動階級4**を熊本県熊本で観測
- 消防庁（7/29, 16:30, 第17報）によれば、人的被害は死者3名・重傷8名、住家被害は一部破損4棟

謝 辞

気象庁の地震情報、防災科学技術研究所のK-NET/KiK-netの強震記録を用いました。
また、波形と応答スペクトルの作図には，国立研究開発法人建築研究所のソフトウェア ViewWaveを使用しています。
ここに記して謝意を表します。